

## 新たな役員体制でスタート

### 第44回鳥取県健康対策協議会理事会

- 日 時 平成25年7月4日（木） 午後3時～午後5時10分
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 47人（役員39人、オブザーバー5人、事務局3人）  
 オブザーバー：県健康医療局健康政策課  
 （萬井課長補佐、下田課長補佐、山根係長）  
 鳥取県保健事業団（岡本理事長、丸瀬常務理事）  
 健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

#### 司会：岡田理事

規約第6条により、会長は鳥取県医師会長とし、副会長は鳥取大学医学部長及び鳥取県福祉保健部長をあてることとなっている。会長、副会長よりご挨拶を頂きます。

#### 挨拶（要旨）

##### 〈魚谷 純会長（鳥取県医師会長）〉

本日はご多忙の中ご出席賜りまして、誠に有難うございます。6月29日に行われた第190回鳥取県医師会定例代議員会において、鳥取県医師会長に選出され、同時に本協議会会長に就任致しました。

本会理事会は例年5月末に開催いたしますが、医師会役員選挙の関係で、開催時期が遅れましたことを、お詫び致します。

本会には、平成16年に西部医師会長として初めて理事に参加させて頂き、その後鳥取県医師会役員として今日に至っていますが、何分、専門外のため、本協議会会長が務まるか不安です。理事の皆様にご助けて頂きながら、務めていきたいと存じます。

鳥取県医師会は平成25年4月1日から公益社団法人となり、新たにスタートしました。この公益

性を担保する大きな事業の柱の一つが鳥取県健康対策協議会だと思っていますので、今後ともよろしくお願ひします。

##### 〈福本宗嗣副会長（鳥取大学医学部長）〉

今年の4月に鳥取大学医学部長に就任致しました。この会には、初めて出席致します。よろしくお願ひします。

鳥取県健康対策協議会は、鳥取県、医師会、鳥取大学の3者が一体となって、約40年以上前に設立されました。鳥取県の多くの健康課題に取り組んでこられ、本会が益々発展していくことが必要だと感じています。

私は、社会医学系教室のセミナーにずっと携わってきましたので、がん登録事業については、いろんな機会に話を聞くことができました。がん登録の精度をどういうふうに上げていくのかということは非常に重要な課題であると考えています。本日の資料を見ますと、各がん対策、公衆衛生、母子保健、地域医療対策等の諸課題に取り組んでおられ、たくさんの健康課題にしっかりと取り組んでいければと思います。

大学においても、いろんな課題がありますが、最近では、文科省より、地域マインドを有する総

合診療医育成プロジェクトを立ち上げる大学があれば、事業計画を提出しなさいということで、本大学も6月末に文科省に申請を提出したところで

す。  
大学も、がんだけではなく、地域のいろんな課題に取り組んでいき、人材養成をしていきたいと  
思います。いろんな形で、本協議会に貢献してい  
きたいと考えていますので、よろしくお願いま  
す。

#### 〈松田佐恵子副会長（鳥取県福祉保健部長）〉

今年の4月に鳥取県福祉保健部長に就任致しま  
した。よろしくお願います。

鳥取県医師会、鳥取大学医学部の皆様方におい  
ては、日頃、本県の保健医療福祉行政のそれぞ  
れの場面においてお世話になっております。有難  
うございます。

県民健康保持増進のため、熱心に調査研究等  
を行って頂き、誠に有難うございます。

県行政においては、医師会、鳥取大学の皆様  
のお力をお借りしながら、スクラムを組んだ形  
で、取組みを進めているところです。

昨年度は、県民の皆様の医療、健康を守るた  
めの大きな計画を策定しました。鳥取県保健医  
療計画、健康づくり文化創造プラン、がん対策  
推進計画、鳥取県肝炎対策推進計画の4つの  
大きな計画を策定するにあたり、大きな力添  
えを頂きましたことを感謝申し上げます。

特にがん対策推進計画については、計画の策  
定にあたり詳細に検証していただき、それを元  
にして、今年度においては肝臓がん等予防緊急  
戦略事業と名を打ちまして、ストップ肝臓がん  
啓発事業、働き世代への無料肝炎ウイルス検  
査アセス向上事業を行うこととしており、県  
民の皆様が検査を受検しやすくなるような事  
業を進めていくこととなりました。

今年度においても、それらの事業の推進、あ  
るいは新たな調査研究を行う事業において皆  
様のお力をお借りすることとなると思いま  
す。県民の皆様

様の健康が益々進みますように、県福祉保健  
部、病院局ともに頑張ってまいりますので、ど  
うぞよろしくお願います。

#### 理事の異動（敬称略）

○鳥取県、鳥取大学医学部の異動、専門委員  
長の交代等により、4月1日より役員に就任  
された方は次のとおりである。

#### 〈副会長〉

鳥取大学医学部長 福本 宗嗣

#### 〈副会長〉

鳥取福祉保健部長 松田佐恵子

#### 〈理事〉

鳥取県福祉保健部子育て王国推進局長 岡崎 隆司

鳥取県健康医療局健康政策課長 細川 淳

鳥取県健康医療局健康政策課がん・

生活習慣病対策室長 村上 健一

鳥取県立厚生病院長 井藤 久雄

鳥取県保健所長会会長 吉田 良平

鳥取大学医学部教授 谷口 晋一

鳥取大学医学部教授 尾崎 米厚

鳥取県立中央病院副院長 皆川 幸久

鳥取赤十字病院第三外科部長 山口 由美

○東部医師会は一般社団法人、中部医師会  
は公益社団法人にそれぞれ移行したため、東  
、中部医師会の代議員会において新会長が選  
出され、役員に就任した。

#### 〈理事〉

一般社団法人鳥取県東部医師会  
長 松浦 喜房 25.6.22就任

公益社団法人鳥取県中部医師会  
長

松田 隆 25.6.28就任

○鳥取県医師会は、平成25年4月1日公益社  
団法人へ移行したため、6月29日第190回  
鳥取県医師会定例代議員会において新役員  
が選出され、同時に本協議会役員に就任  
した。

## 〈会 長〉

鳥取県医師会長 魚谷 純

## 〈理 事〉

鳥取県医師会理事 辻田 哲朗

鳥取県医師会理事 青木 哲哉

## 〈監 事〉

鳥取県医師会監事 太田 匡彦

役員名簿は別紙のとおり。留任役員29名、新任役員17名)

任期は、平成26年3月31日までである。

理事44名に対し37名の出席があり、規約11条第4項により、過半数以上が出席のため、理事会の開催が成立。

議事進行：議長は魚谷会長

## 議 事

### 1. 平成24年度事業報告

各専門委員会の活動状況について、各専門委員長より資料をもとに説明、報告があった。(各種検診の平成23年度実績、平成24年度実績見込み、平成25年度事業計画は別表のとおり)(別記1)

#### (1)がん登録対策専門委員会：岸本委員長に代わって尾崎理事報告

厚生労働省がん登録研究班のがん罹患の標準集計方式に従い平成21年の罹患集計を行った結果、罹患総数4,723件で、人口10万対年齢調整罹患率(標準人口は60年日本人モデル人口)は、男511.3、女330.6であった。鳥取県は75歳未満のがん罹患率が高く、特に男性の罹患率が高いことが、75歳未満年齢調整死亡率の高い要因となっている。

届出精度としてのDCNは、平成21年(2009年)は12.7%で、全国有数の精度である。この集計結果を取りまとめた「鳥取県がん登録事業報告書」を作成した。

平成24年がん登録届出件数6,583件で、がん拠

点病院を中心に主要病院の登録精度の充実が図られている。

地域がん登録の標準化データベースシステム(DBS)導入に向けて準備を行っている。

全国がん登録協議会総会研究会が高知県で開催され、メインテーマは「地域がん登録の深化」であった。

#### (2)胃がん対策専門委員会：吉中委員長報告

平成24年度は、胃がん検診対象者数190,425人、受診者数45,789人(平成25年3月末調べ)の見込みである。

平成23年度受診率23.4%であった。そのうち、内視鏡検診実施割合は66.1%であった。

確定胃がん157例で、がん発見率は0.36%で、X線検査がん発見率0.16%に対し、内視鏡検査がん発見率は0.46%と約3倍高いが、胃がん内視鏡検診の精度管理として、組織診の実施率、プロセス指標の検討が今後の課題である。

第43回日本消化器がん検診学会中国四国地方会・中国四国地方胃集検の会が平成24年12月に松山市において開催された。また、従事者講習会及び症例研究会を中部で開催した。

#### (3)子宮がん対策専門委員会：原田委員長に代わって皆川理事報告

平成24年度は対象者数135,408人、受診者数28,662人の見込みである。平成21年度から始めた「女性特有のがん検診推進事業」は、特定年齢を対象に無料券を配布したことにより初回受診者が増加し、受診勧奨効果が上がっている。

平成22年度よりベセスダシステムを導入して不良検体が多く発生したが、医療機関に対する改善指導の成果により、23年度は要精検率及び精検受診率が改善した。さらなる改善に向けて、平成25年度検診より液状化検体法を市町村に対し推奨しており、大方の市町村で実施される見込みである。

また、平成25年度、国は調査研究事業として

HPV併用検診の補助事業を実施することとしており、受診者の検診結果分析と追跡調査の収集可能な体制を整えた市町村に対し5歳刻みの対象者に対し補助を行うこととなっている。県内では3市町村が手挙げをしているところである。

従事者講習会及び症例研究会を東部で開催した。

#### (4) 肺がん対策専門委員会：中村委員長報告

平成24年度は対象者数190,425人のうち、受診者数は50,270人で、受診率は26.4%の予定である。

平成23年度受診率は25.5%で、前年度に比べ1.3ポイント増で、米子市で医療機関検診が開始され、受診者数約3千人増が大きく影響している。国の指標許容値は3%以下とされているが、本県の要精検率は5.09%と依然と高い。その中で、精検受診率は89.5%と高値で、がん発見率は0.09%で全国に比べ約3倍の肺がんが発見されている。これは高い要精検率、精検受診率から多数のがんが発見されていることであり、高い精度の検診が行われていると言えるが、要精検率は医療機関検診6.29%、集団検診4.28%と集団検診の方が2.01ポイント低いのに対して、がん発見率では医療機関検診0.098%、集団検診0.086%と医療機関検診が0.12ポイント上回るのみである。医療機関検診では従来から比較読影の割合が低いことが指摘されており、医療機関検診の精度管理は今後の検討課題の一つである。

昭和62年から平成23年までの24年間における発見肺がん1,039人の予後調査の結果、臨床病期ⅠA期の5生率は73.5%、10生率は53.2%と良好な結果である。

委員会においては、医療機関検診の精度向上のために比較読影が重要であることから、5年以内の直近フィルム1枚を提出してもらえるように、指針の改正の検討を行った。

また、平成24年度より保健事業団で東部・中部地区の集団検診でデジタル読影が開始された。医療機関検診の全県デジタル読影導入に向けて、健

対協は、デジタル読影装置(3Mモニタ2面)を3地区医師会に整備するように「鳥取県地域医療再生基金」に、補助申請を行っている。

従事者講習会及び症例検討会を東部で開催した。

#### (5) 乳がん対策専門委員会：工藤委員長に代わって山口理事報告

平成24年度乳がん検診実績見込みは対象者数122,153人、受診者数22,433人の見込みで、増加傾向にある。平成23年度の対象者数は118,248人で、受診者数は18,194人、15.4%であった。なお、2年合わせた平成23年度の最終受診率は結果的に29.3%で、全国平均約20%に比べ良好な成績である。

要精検率7.49%、精検受診率93.6%、がん発見率0.40%、陽性反応適中度5.65%で、国の指標より高い数値であり、精度管理が良好といえる。また、要精検率、発見率が高い40~44歳の受診率は53.1%、45~54歳では45%以上で多くの方が受診しており、よい傾向である。

確定調査の結果、確定乳がん70例で、40歳代のがん発見が多く、マンモグラフィで所見がなく視触診で発見された症例が3例あったことから、若年者においては、マンモグラフィ検診のみならず視触診も大事である。

従事者講習会及び症例検討会を西部で開催した。各地区でも症例検討会を開催した。

#### (6) 大腸がん対策専門委員会：岡田委員長報告

平成23年度は対象者数190,556人のうち、受診者数52,192人、受診率27.4%で、前年度に比べ受診者数2,818人増、受診率1.2ポイント増で、無料クーポン券配布の効果が上がっていると思われる。要精検率8.3%、精検受診率77.5%で、国の指標を目指して精度管理に努めていきたい。また、がん発見率0.25%、陽性反応適中度3.9%で、国の指標に比べ高い。発見がん患者確定調査結果は、確定癌131例のうち早期癌率61%であった。

また、平成20年3月に国が示したがん検診実施のための指針において、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査とされていることから、本県においても指針に沿った検査体制が可能であることから、注腸X線検査医療機関登録は平成25年3月31日をもって廃止。

ただし、国の指針においても全結腸内視鏡検査を行うことが困難な場合、S状結腸内視鏡検査と注腸X線検査の併用による精密検査を実施することとされており、各地区大腸がん注腸読影委員会は継続設置。

従事者講習会を中部で開催し、各地区でも講習会等を開催した。

#### (7) 肝臓がん対策専門委員会：川崎委員長報告

- ①平成23年度は、健康増進事業における肝炎ウイルス検査が16市町村で実施され、受診者数は3,374人で受診率は1.7%であった。受診者数におけるHBs抗原陽性率は1.7%、HCV抗体陽性率は0.7%であった。精検の結果、肝臓がん確定は2人であった。
- ②平成7年度から平成23年度の17年間を集計すると、平成7～9年度の検診時において市町村から報告があった対象者数192,315人に対し、受診者総数は120,043人、推計受診率は62.4%であり、そのうちHBs抗原陽性者は2,902人(2.42%)、HCV抗体陽性者は3,586人(2.99%)であった。
- ③検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査からは、肝臓がんと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が1人(受診者数の0.1%)、C型肝炎ウイルス陽性者が9人(受診者数の2.2%)であった。
- ④平成7～22年度肝臓がん検診発見がん患者の追跡調査を行った結果、確定がんが23例で生存者は2例であった。また、平成10～21年度定期検査確定がんが111例で、生存者は39例であった。このデータから、フォローアップが非常に大事であることが分かる。

⑤従事者講習会及び症例研究会を西部で開催した。

⑥現行の「鳥取県肝臓がん検診等実施要領」は、国の現行制度に即したものになるよう見直しを行い、「鳥取県肝炎ウイルス検診・肝臓がん検診等実施要領」に改称し、内容を一部改正し、平成25年度より適用する。また、定期検査事後管理において、従来は「年に1回の受診勧奨を行う」としていたが、「精密医療機関等で年2回以上受診するよう受診勧奨を行う」に改正した。

平成25年度から平成29年度までの「鳥取県肝炎対策推進計画」が策定され、その中で、7月を『鳥取県肝臓病月間』として新たに設け、県民への肝炎ウイルス検査の受診勧奨の強化及び肝臓がん予防等について正しい知識の普及を図る。

#### (8) 若年者心臓検診対策専門委員会：坂本委員長報告

- ①平成24年度心電図検診は21,881人が受診し、そのうち、正常範囲が21,330人、要精検者数551人で、要精検率は2.5%で、前年度と同様な結果であった。
- ②心臓精密検査結果  
県教育委員会及び鳥取県健康対策協議会へ報告のあった集計では、定期健康診査受診者数66,270人のうち精密検査対象者数は1,455人(うち新規544人)で、精検受診率は90.2%で、全国に比べると高いが、100%を目指す。精密検査の結果、要医療45人、要観察784人、管理不要228人、異常なし294人であった。
- ③心臓検診従事者講習会を中部で開催した。鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学分野講師 三明淳一郎先生による「失神・突然死に関連する不整脈」の講演が行われた。
- ④第45回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会が徳島県医師会主催のもと開催された。

(9) 母子保健対策専門委員会：神崎委員長に代わって岡田理事が報告

- ① 鳥取県と全国を比較した母子保健指標の推移によると、平成23年の出生者数は4,931人で昨年より141人増加し、全国トップの増加数であった。合計特殊出生率は1.58（全国平均1.39）で、前年より0.04ポイント上昇した。乳児死亡は10人で昨年より14人減少した。周産期死亡は14名で昨年の29人（ワースト2位）から46位と著明に改善した。
- ② 平成23年度妊娠届出数は4,920件（前年5,159件）で、そのうち分娩後の届出が8件あり、なかなか減少しない。妊婦の喫煙率は4.1%で、これもなかなか減少しない。
- ③ 平成23年度新生児聴覚検査は、16医療機関において実施され、実施率93.6%であった。医療機関の協力を得ながら、100%を目指す。
- ④ 平成23年4月から全県でタンデムマス法による新生児マス・スクリーニングが開始され、24年1月での検査実施人数は4,803人、要再検査者数は37人であった。タンデムマス法による検査は引き続き鳥根大学に依頼する。
- ⑤ 鳥取県乳幼児健康診査マニュアル（平成19年度版）については、母子保健対策専門委員会小委員会において、現状と課題に即した内容とするための見直しを行い、【概要版】を作成した。25年度には実際に使用し、今後も必要に応じて訂正を行うこととなる。

(10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：岡田委員長報告

平成24年度は以下について調査を行った。報告集は現在、印刷中である。

- ① 「鳥取県における透析患者の実態調査と腎移植の推進に関する研究」  
透析患者の高齢化に伴う諸問題や献腎移植の実施件数が少ない背景と対策について検討を行っている。また、腎移植コーディネーターと腎移植専門医の連携で、脳死下臓器提供のシミュ

レーションを行い、体制の整備と臓器移植の推進を行っている。

- ② 「高齢者胃癌に対する手術治療、鳥取県中核病院へのアンケート調査と鳥取大学医学部の取り組み」

80歳以上の超高齢者における胃癌手術の現状を把握し、80歳以上の超高齢者における胃癌手術がどうあるべきかを検討した。高齢者胃癌手術に腹腔鏡を用いることにより、術後の心肺の合併症を減少させうること、また、75歳以上の高齢者胃癌術後の補助化学療法にS-1隔日投与が効果的であることが証明されれば、日本の外科医療においては大きな進歩となると期待される。

- ③ 「鳥取県での非アルコール性脂肪肝炎の現状～新規biomarker可溶性LDL受容体の有用性～」

近年肥満や糖尿病の増加とともに、鳥取県内においても非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）が増加している。鳥取県の現状把握とNAFLD患者に対してこの新しいbiomarkerであるsLDL-Rを測定し、脂肪沈着の程度や炎症との関連と検討を行った。

- ④ 「鳥取県におけるがん罹患・死亡の地域特性に関する疫学的研究」

鳥取県におけるがんの実態を明らかにするために、がん罹患・死亡に関して人の属性から（性別・年代別）、空間的視点から（地域別）、また時間的視点から（年次別）という三つの視点から解析する記述疫学的研究を実施した。

- ⑤ 「呼吸器外科領域におけるロボット手術の有用性に関する検討～優れた低侵襲性が術後のQOL改善に寄与するか～」

鳥取県は高齢者が多いため、低侵襲のロボット手術の普及には大きな期待がかかる。今回、鳥取大学医学部附属病院で行われたロボット手術の初期成績を術後のQOLを含めて解析し、ロボット手術の有用性を検討する。

- ⑥ 母子保健調査研究：鳥取県中・西部地域における分娩施設外出生児の予後と問題点

2006年から2011年6月までの約5年間に、鳥取県中西部において、分娩施設外で出生した新生児を対象に検討した。

分娩施設外で出生した新生児の半数以上はかかりつけがあり、かつ新生児の状態は良好であると考えられた。また、かかりつけの産科に入院した新生児で、その後小児科施設へ転院した例は認められなかった。すなわち分娩施設外で出生したが産科搬送した例においては、通常の産科管理のみで管理可能であり、医療経済、ハード資源への影響は比較的少ないと思われた。入院時、低体温が高頻度に認められており、新生児搬送の際の体温管理を見直す必要があると思われた。

#### (11) 公衆衛生活動対策専門委員会：魚谷委員長報告

##### ① 健康教育事業

「健康フォーラム」を平成24年9月28日に湯梨浜町ハワイアロハホールで開催し、「鳥取発、最先端の肺がん外科治療 ～ロボット手術が切り開く外科の新時代～」と題して、鳥取大学医学部附属病院胸部外科科長・准教授（診療教授）中村廣繁先生の講演と「肺癌の自覚症状と薬物治療の個別化」と題して、鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学分野教授 清水英治先生の講演を行い、聴講者は137名であった。

この他に、日本海新聞に「保健の窓」、「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を掲載。毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座を実施。会場は鳥取県健康会館の他に、倉吉市内でも1回開催した。

鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」は年12回開催することになっているが、鳥取県健康会館で開催した鳥取県医師会公開健康講座のうち6回をこれにあて、さらに3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施した。

##### ② 地域保健対策

平成24年度からは新たに「各種がん検診確定がん予後調査から検診の精度評価を考える」をスタートした。今年度は、ここ10年で罹患率、死亡率が上昇している乳がんについて、まず調査の準備を行っている。

##### ③ 生活習慣病対策事業

各地区医師会においても、教育講演会、座談会を開催している。東部では東部医師会健康スポーツ講演会を行い、中部医師会では「住民健康フォーラム」を行い、西部では健康教育講演、一般公開健康講座等を開催している。また、鳥取県健康会館において、面談による健康相談を毎月第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科が担当して行っており、54件の相談があった。

#### (12) 生活習慣病対策専門委員会：富長委員長に代わって谷口理事報告

平成23年度特定健診実施状況は、被用者保険と市町村国保の合計では受診率34.6%で、前年度より1.4ポイント増加した。保険者ごとの受診率は、70%以上の高いグループと低いグループとの2極化の傾向が見られた。

また、特定保健指導実施状況は、被用者保険と市町村国保の合計では、動機付け支援実施率19.6%、積極的支援実施率10.3%、両者を合わせた実施率は15.0%で、前年度より2.0ポイント増加した。

市町村国保における特定健診有所見状況は、HbA1c、収縮期血圧、LDLのそれぞれの有所見率は約50%～60%を占めており、例年と同様な結果である。メタボリックシンドローム該当者は受診者の15.2%で、全国と比較すると鳥取県は低い部類となる。また、腹囲有所見のうち、高血圧が30.3%と高く、メタボリック症候群およびその予備群に高血圧が関与している頻度が高いものと思われた。

慢性腎臓病（CKD）特別対策事業を推進する

に当たり、平成24年度から、県内の17市町村国保において特定健診に併せてクレアチニン検査が導入された。保健指導するにあたって、クレアチニン値のみでなく、eGFR値で腎機能を評価することが必要であることから、eGFR値を併記すべき、との委員会の意見を受け、鳥取県医師会理事会等で協議した結果、平成25年度より協力できる医療機関は可能な範囲で値の記載をお願いする。また、鳥取県医師会代行入力記録票にeGFR値の記載欄を設けた。

特定健診従事者講習会を西部で開催した。

#### (13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：

##### 藤井委員長報告

地域医療を担う医師の確保として、鳥取県の奨学金制度（医師）があり、平成18～平成24年度までの7年間に142名に奨学金を貸付け、順次、臨床現場での勤務を始めている。制度の見直しとして、一般枠、地域枠では返還免除対象勤務先に鳥取大学医学部附属病院が含まれておらず、専門医取得等の関係で同院での勤務可能期間の延長を望む意見が強くあり、平成25年度から勤務可能期間を6年間に延長する制度改正を行うこととした。

今後も地域医療を担う医師のキャリア形成支援など医師確保対策を総合的に推進するため、平成25年1月に鳥取県地域医療支援センターを設置した。

地域医療に貢献する人材育成と地域医療の発展のため、平成22年10月に鳥取大学に地域医療学講座が設置され2年半が経過した。鳥取大学では4年次と6年次の臨床実習においては、地域の医療機関で実習を実施している。専門性を持ちつつ総合医として地域医療に貢献できる人材育成を目指しているとの報告があり、総合医像などについて活発な意見交換がなされた

#### (14) 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会：岡本会長に代わって岡田理事報告（別記2）

平成24年度の総合部会は平成24年9月13日、平成25年3月14日の2回開催した。

この会では各部会長、専門委員長及びオブザーバーとして各部会の保健師が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について、鳥取県健康政策課の資料説明にもとづいて各部会を横断的に問題点について討議を行った。報告内容は別添資料のとおり。

#### 2. 平成24年度決算書について、岩垣係長が説明し、承認された。（別記3、4）

県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金については、事業の増減によりそれぞれ補正を行った。よって、収入合計額58,393,267円に対し、支出合計額は56,241,470円、収支差引額は2,151,797円となり、平成25年度に繰り越した。

#### 3. 平成24年度表彰基金決算書、特別事業積立金について、岩垣係長が説明し、承認された。（別記5、6）

「表彰基金」は、昭和58年9月、健対協が保健文化賞を受賞した時の副賞の賞金を基金として、それ以降、毎年の鳥取県健康対策協議会会長表彰等で支出を行っている。本年3月末現在の基金総額は375,160円である。

「特別事業積立金」は、定期預金積立金4,041,013円。また、普通預金1,741,802円は平成24年度へ繰り越した。

#### 4. 監査報告

新田監事より、6月20日監査した結果について適正であった旨の報告があった。（別記7）



5. 専門委員会の構成（案）及び専門委員会委員長及び委員の異動、鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会委員について（別記8、9、10、11、12）

岡田理事が説明され、承認された。任期は、平成26年3月31日まで。

6. 平成25年度事業計画（案）について

各専門委員長より本年度の事業計画について、それぞれ説明され了承された。（別記13）

（1）がん登録対策専門委員会：尾崎委員長説明

平成22年標準集計。罹患集計の結果は、医師会報、事業報告、ホームページとして公表する。登録精度の向上のための届出勧奨を行う。また、引き続き、補充届出票による遡り調査と各種検診発見がんの未登録分の登録を行う。

平成27年1月からの標準化DBSの運用開始に向けて、今後の標準化に向けてのスケジュール・届出票の様式変更の検討を行う。第22回地域がん登録全国協議会総会研究会。

（2）胃がん対策専門委員会：吉中委員長説明

平成25年度は受診者数約55,600人で、受診率29.2%の予定である。

国保ドック検診においても市町村検診に準じた精度管理を行い、健対協のデータに計上する。

デジタル化に伴う読影実施。

従事者講習会及び症例検討会開催。

（3）子宮がん対策専門委員会：皆川委員長説明

平成25年度は約36,600人の受診予定である。無料クーポン券を利用して、初回受診勧奨を行う。子宮がん検診一次検査医療機関は年に1回登録更新手続きを行う。

妊婦健診における子宮がん検診はほぼ100%実施であるが、有所見率も高い。また、若年層のHPV陽性率が高いことから、若年者の受診勧奨の啓発活動を行っていききたい。子宮がん検診従事

者講習会と症例検討会を西部で開催予定。

（4）肺がん対策専門委員会：中村委員長説明

平成25年度の受診者数は約57,700人、受診率は30.3%の見込みで、増加傾向にある。境港市で新たに医療機関検診が始められる予定である。

重点計画としては、受診率の向上のために引き続き市町村へ働きかけと、医療機関検診の推進を強化する。特に医療機関検診では精度管理のため、比較読影の割合を増加する必要がある。また、デジタル検診の導入にあたり、読影体制を統一していくことを検診医療機関や読影委員に周知徹底する必要がある。肺がん検診の予後調査については貴重なデータが蓄積されており、今後も肺がん疑い者も含めて、追跡調査を徹底する。

従事者講習会及び症例検討会を西部で開催予定。

（5）乳がん対策専門委員会：山口委員長説明

平成25年度は約30,000人の受診予定である。

要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度も全国平均より良好な成績となってきたが、受診率は伸び悩んでいる。

よって、車検診を中心に受診勧奨を行い、特に、乳がん患者の5～10%は遺伝性乳癌といわれているので、家族歴に乳がん患者がおられる方には受診勧奨を行っていく必要がある。

すべての受診者が少なくとも、2年に1回は検診が受けられるような体制整備に努めること。また、中間期乳癌の予防として、自己触診の啓発普及に努める。

従事者講習会及び全県症例検討会を東部で開催予定。また、各地区症例検討会も開催予定。

（6）大腸がん対策専門委員会：岡田委員長説明

平成22年度より県が無料クーポン券事業を行い、平成23年度からは国の「働く世代の大腸がん検診推進事業」の補助事業が開始され、これらの補助事業は受診者数増加に一定の効果があつたも

のと考えられる。平成25年度は約61,700人の受診予定である。引き続き、補助事業の効果について検証を行っていく。

また、大腸がん検診の精密検査受診率向上を図るため、精検受診勧奨支援ツール「有所見者のための大腸精密検査受診マニュアル」をパワーポイントファイルで作成した。今後、市町村に提供し受診勧奨に活用していただくこととしている。

平成24年度の検診より、採便方法が1日2個法の併用から2日法のみで実施されている。市町村ならびに実施医療機関のご協力で大きな混乱もなく運用されているものと思われる。引き続き、実施状況の確認と検診の精度に与える影響などを検討していきたい。

また「鳥取県大腸がん注腸X線検査医療機関登録」を平成24年度末で廃止とした。精密検査方法の変更による受診行動への影響の有無を確認する。

各地区読影委員会で定期的な読影指導会及び読影講習会を開催する。また、従事者講習会及び症例研究会も西部で開催予定。

#### (7) 肝臓がん対策専門委員会：川崎委員長説明

平成25年度は国庫事業の肝炎ウイルス検査（15市町村実施）8,609人、市町村単独事業（7町実施）680人の実施予定である。

肝臓がん検診及び国庫事業の肝炎ウイルス検査は、それぞれ平成7年度及び平成14年度より開始されているが、これらの検診・検査により発見されたB型肝炎ウイルス及びC型肝炎ウイルス陽性者に対し、精密医療機関等を通じ年2回以上受診するよう受診勧奨を行う。

発見肝臓がんの確定調査を行う。

従事者講習会及び症例研究会を東部で開催予定。

#### (8) 若年者心臓検診対策専門委員会：坂本委員長説明

心臓疾患精密検査受診率90%と高いが、公費負

担から個人受診に変更してから受診率は下がっている。教育委員会と協力しながら受診率100%を目指す。また、心電図判読事業は地区により要精検率にばらつきがあるので、格差をなくすことに努める。

心臓検診従事者講習会を学校医研修会と同日に中部で開催する予定。

第46回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会が、平成26年2月2日、兵庫県医師会館で開催されるので参加する。

#### (9) 母子保健対策専門委員会：神崎委員長に代わって岡田理事説明

母子保健に関するデータの効果的・効率的な集計・評価・分析のあり方を検討する。

思春期の健康問題や青少年、妊産婦の喫煙問題等の対策について検討する。飛び込み出産を避ける方策や、公費負担による妊婦健診の問題点を抽出する。

引き続き、乳幼児健診受診率100%を目指し、更なる体制整備を図る。

また、平成24年度に作成した「鳥取県乳幼児健康診査マニュアル（概要版）」に解説を加えて、マニュアルを完成させる。

#### (10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：瀬川委員長説明

平成25年度は前年度に引き続き、以下のとおり調査を行う。

##### 【疾病構造の地域特性対策調査研究】

##### ① 「鳥取県における腎不全医療の実態調査と腎移植の推進に関する研究」

引き続き、鳥取県臓器バンク、患者団体である腎友会、さらに県内研究者の協力を得て、腎不全医療の諸問題を把握し、その解決方法を探る。

##### ② 「高齢者胃癌に対する腹腔鏡下胃切除の有用性と術後補助化学療法の実施に関する研究」

75歳以上の高齢者胃癌患者への理想的な手術

療法や術後補助化学療法を提案することが主な目的である。

消化器内科の協力を得て、胃癌患者におけるヘリコバクタ・ピロリ菌感染の状況を調査し、鳥取県における高齢胃癌患者のヘリコバクタ・ピロリ菌感染状況を把握する。高齢者胃癌の予後を改善させることは、鳥取県における癌関連死亡率を低下させることに繋がると考える。

### ③「鳥取県における肝がんサーベイランスの実態」

適切なサーベイランスによって早期発見が行われているかを調査するため、拠点病院を中心に、初発肝細胞癌で入院した患者の実態調査を行い、現在のサーベイランスが早期診断に役立っているかを中心に検討する。

### ④「鳥取県における部位別にみたがんの疫学的特性に関する研究」

鳥取県がん登録資料や死亡統計を活用して、性別・年代別（75歳未満と75歳以上）の罹患・死亡状況や市町村別、市郡別ならびに保健所管内別の状況について比較する。主な部位の動向の年次推移を検討し、がん検診との関連などをふまえ、今後の対策について提言を行う。以上のような記述疫学的研究を行って、鳥取県におけるがん罹患・死亡の地域特性を明らかにして対がん活動の基礎資料とする。

### ⑤「時代とともに変化する肺癌に対するretrospective解析～鳥取県の傾向と今後の対応策を考える～」

鳥取県と鳥取大学医学部附属病院のデータベースから、過去から現在まで、時代の変遷に伴う肺癌の特性を解析し、その間の治療法の変化を調査する。また、文献的に全国および欧米における傾向と比較を行い、鳥取県における肺癌特性を鑑みた適切な対応策が今後どこまで可能かを模索する。

## 【母子保健調査研究】

タンデムマス法による新生児マス・スクリーニ

ング法によって見出される新しい代謝異常症の発生頻度・異常遺伝子の解析を行う。改訂した乳幼児健康診査マニュアルの暫定案に解説を加えて、鳥取県の乳幼児健康診査マニュアルを完成させる。

低出生体重児、特にSGA児、身長予後とそれに関係する因子の検討。

また、鳥取県における在宅出生児の頻度と予後に関する検討。

### (11) 公衆衛生活動対策専門委員会：渡辺委員長説明

健康フォーラムは、実施する方向で、現在、調整中である。日本海新聞に「保健の窓」、「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」掲載続行予定。健康相談も継続実施。

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座を継続実施。会場は鳥取県健康会館のほか、倉吉市で1回開催する予定。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については平成25年度も継続して行い、年12回の開催で、鳥取県医師会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施して頂く予定。

各地区の健康教育活動、鳥取県医師会で行っている健康相談も継続実施。

地域保健対策は「各種がん検診確定がん予後調査から検診の精度評価を考える」を行う。

### (12) 生活習慣病対策専門委員会：谷口委員長説明

委員会の開催2回。平成24年度特定健診結果の分析および評価を行う。また、保健指導実施状況を把握し、その効果について評価を行う。受診率向上、保健指導実施率向上に向けて、各組合の様々な取り組みを集約し、他の組合への参考に供する。

特定健診の検診項目にクレアチニンを追加する保険者は拡大されてきたが、更に、eGFR値の併記を推し進め、これを保健指導に生かすべく、啓

発していく。

従事者講習会を中部で開催予定。

(13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会:

藤井委員長説明

鳥取県が鳥取大学ほかに設定している地域枠等の学生が次々と医療現場での勤務を始めてきており、これら奨学金の貸与を受けた医師のキャリア形成を支援して、鳥取県の地域医療の充実がはかれるよう、前年度に引き続き、研修・育成体制について意見交換する。

また、地域医療再生基金等を活用することにより、平成22年度より各地区医師会を中心に主要な疾患の地域連携クリティカルパスの作成や活用をはかっており、その現状や課題、今後の取り組みなどについて意見交換する。

以下の質問があった。

疾病構造調査研究において、池口教授が高齢胃癌患者を対象にしたヘリコバクタ・ピロリ菌感染状況調査を行われますが、若年層においても、胃がん検診と併せてヘリコバクタ・ピロリ菌検査を行うことを、今後、検討して頂きたいという質問があった。

全国に先駆けて、平成12年度より胃がん内視鏡検診を導入し、平成20年度より厚生労働省の浜島班において、米子市の内視鏡検査症例を対象として、有効性評価に関する論文が出されると期待していたが、いまだに提出されていない段階で、次のステップのヘリコバクタ・ピロリ菌検査の導入は時期尚早と思われる。今後の検討課題である。

7. 平成25年度予算(案)について、岩垣係長より説明があり、承認された。(別記14、15)

健対協予算は前年度と同様に県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金、県医師会補助金、繰越金を含む諸収入である。平成25年度予算総額は60,781千円で、前年度とほぼ同額予算である。

8. 平成25年度鳥取県健康対策協議会会長表彰について

多年に亘り、健対協事業に貢献された川崎寛中先生、田村矩章先生を平成25年度鳥取県健康対策協議会会長被表彰者と決定した。(別記16)

理事会に引き続き、ホテルモナーク鳥取にて表彰式と懇親会を行った。

# 平成25年度鳥取県健康対策協議会役員名簿

(任期 平成24年4月1日～平成26年3月31日)

(敬称略)

会長	魚谷 純 (県医師会会長) <sup>*2</sup>	理事	米川 正夫 (県医師会常任理事)
副会長	福本 宗嗣 (鳥取大学医学部長) <sup>*1</sup>	〃	岡田 克夫 ( 〃 )
〃	松田佐恵子 (県福祉保健部長) <sup>*1</sup>	〃	武信 順子 (県医師会理事)
理事	柴田 正顕 (県病院局病院事業管理者)	〃	瀬川 謙一 ( 〃 )
〃	岡崎 隆司 (県福祉保健部子育て王国推進局長) <sup>*1</sup>	〃	小林 哲 ( 〃 )
〃	藤井 秀樹 (県福祉保健部健康医療局長)	〃	辻田 哲朗 ( 〃 ) <sup>*2</sup>
〃	細川 淳 (県健康医療局健康政策課長) <sup>*1</sup>	〃	青木 哲哉 ( 〃 ) <sup>*2</sup>
〃	中西 眞治 (県健康医療局医療政策課長)	〃	北野 博也 (鳥取大学医学部附属病院長)
〃	國米 洋一 (県健康医療局医療指導課長)	〃	村脇 義和 (鳥取大学医学部教授)
〃	村上 健一 (県健康医療局健康政策課がん・生活習慣病対策室長) <sup>*1</sup>	〃	池口 正英 ( 〃 )
〃	日野 理彦 (県立中央病院長)	〃	清水 英治 ( 〃 )
〃	井藤 久雄 (県立厚生病院長) <sup>*1</sup>	〃	神崎 晋 ( 〃 )
〃	吉田 良平 (県保健所長会々長) <sup>*1</sup>	〃	原田 省 ( 〃 )
〃	川崎 寛中 (鳥取産業保健推進連絡事務所代表)	〃	山本 一博 ( 〃 )
〃	長谷岡淳一 (県衛生環境研究所長)	〃	中村 廣繁 ( 〃 )
〃	松浦 喜房 (東部医師会会長) <sup>*3</sup>	〃	谷口 晋一 ( 〃 ) <sup>*1</sup>
〃	松田 隆 (中部医師会会長) <sup>*4</sup>	〃	尾崎 米厚 ( 〃 ) <sup>*1</sup>
〃	野坂 美仁 (西部医師会会長)	〃	皆川 幸久 (鳥取県立中央病院副院長) <sup>*1</sup>
〃	渡辺 憲 (県医師会副会長)	〃	吉中 正人 (吉中胃腸科医院長)
〃	清水 正人 ( 〃 )	〃	山口 由美 (鳥取赤十字病院部長) <sup>*1</sup>
〃	明穂 政裕 (県医師会常任理事)	〃	坂本 雅彦 (垣田病院長)
〃	笠木 正明 ( 〃 )	監事	新田 辰雄 (県医師会監事)
〃	吉田 真人 ( 〃 )	〃	太田 匡彦 ( 〃 ) <sup>*2</sup>

※1 平成25年4月1日付で就任

※2 平成25年6月29日付で就任

※3 平成25年6月22日付で就任

※4 平成25年6月28日付で就任

## 平成24年度鳥取県健康対策協議会事業報告

（ ）の数字は平成24年度決算額

（単位：円）

### 1. がん登録対策専門委員会【委員長：岸本拓治（YMCA米子医療福祉専門学校長）】

事業内容	摘要
1. がん登録及び集団検診の効果分析 2. 出張採録と患者照合処理の効率化 3. 「鳥取県がん登録事業実施要綱」の制定 4. 標準化データベースシステム（DBS）導入の検討 (4,844,922)	1. 地域がん登録全国協議会総会研究会参加 2. 「鳥取県がん登録事業報告書（平成20年集計）」

### 2. 胃がん対策専門委員会【委員長：吉中正人（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理 5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影 (5,772,635)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会（中部） 3. 厚生労働省研究班による胃内視鏡検診の有効性評価に関する検討

### 3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：原田 省（鳥大医器官制御外科学講座生殖機能医学教授）】

事業内容	摘要
1. 集団（車検診）検診実施状況の評価、検討 2. 子宮がん検診一次検査医療機関登録 3. 子宮がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見がん患者の確定調査 5. 若年者の受診率向上対策 (867,072)	1. 従事者講習会及び症例検討会（東部） 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

### 4. 肺がん対策専門委員会【委員長：中村廣繁（鳥大医附属病院胸部外科准教授）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 5. デジタル化に伴う読影 (13,886,638)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：工藤浩史（鳥取赤十字病院第一外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見乳がん患者の確定調査 4. 乳がん医療機関検診一次検診医登録 5. マンモグラフィ併用検診体制整備 6. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 (11,853,417)	1. 従事者講習会及び症例検討会（西部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 4. 大腸がん検診注腸X線検査医療機関登録（H25. 3. 31をもって廃止） (511,799)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（鳥取産業保健推進連絡事務所代表）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (534,347)	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：坂本雅彦（垣田病院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 (4,181,583)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（中部） 3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会参加

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥大医統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 新生児マス・スクリーニングについて 3. 乳幼児健康診査について (463,050)	1. 母子保健対策専門委員会小委員会（3回）開催 ・「鳥取県乳幼児健診マニュアル（概要版）」作成

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会理事）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県における透析患者の実態調査と腎移植の推進に関する研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 (2,898,541)	1. 「疾病構造の地域特性対策専門委員会報告（第26集）」発行

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：魚谷 純（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 地域保健対策 2. 健康教育対策 3. 生活習慣病対策 (2,022,129)	1. 健康フォーラム（中部） 2. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座）

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：富長将人（富長内科眼科クリニック院長）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (441,538)	1. 従事者講習会（西部）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：藤井秀樹（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療を担う医師の育成 2. 健康・医療にかかわる計画について検討 (79,503)	



## 平成24年度総合部会記録

部会長 岡本公男

平成24年度の生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会は平成24年9月13日、平成25年3月14日の2回開催した。

この会では各部会長、専門委員長及びオブザーバーとして各部会の保健師が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について、鳥取県健康政策課の資料説明にもとづいて各部会を横断的に問題点について討議を行った。

- 1) がん登録事業は届出精度がさらに向上、一桁台も夢ではない。平成27年1月から国が推奨する地域がん登録の標準化データベースシステム(DBS)の運用開始に向けて、対応の検討を重ねている。
- 2) 平成25年度、国は調査研究事業として、30、35、40歳の女性を対象とした子宮がん検診におけるHPV併用検診の補助事業を行うこととしており、HPV併用検査等の知見を確実に収集可能な体制を整えた市町村に対し補助を行う。
- 3) 健対協は、肺がん医療機関検診の全県デジタル読影体制として、東・中・西部の3地区医師会にデジタル読影装置(3Mモニター2面)をそれぞれ整備するように「鳥取県地域医療再生基金」に補助申請を行った。また、医療機関検診の精度向上のために比較読影が重要であることから、5年以内の直近フィルム1枚を提出してもらえるように、指針の改正の検討を行った。
- 4) 「鳥取県乳がん検診実施における手引き」に、健対協において推奨される正しい自己触診法の知識と手技を追加し、その普及に努める。
- 5) 「鳥取県大腸がん検診実施に係る手引き」が改正され、平成24年度より採便方法を1日2個法の併用から2日法に切り替わったが、市町村

ならびに実施医療機関のご協力で大きな混乱もなく運用されている。

また、平成20年3月に国が示したがん検診実施のための指針において、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査とされていることから、本県においても指針に沿った検査体制が可能であることから、注腸X線検査医療機関登録は平成25年3月31日をもって廃止。

ただし、国の指針においても全結腸内視鏡検査を行うことが困難な場合、S状結腸内視鏡検査と注腸X線検査の併用による精密検査を実施することとされており、各地区大腸がん注腸読影委員会は継続設置。

- 6) 現行の「鳥取県肝臓がん検診等実施要領」は、国の現行制度に即したものになるよう見直しを行い、「鳥取県肝炎ウイルス検診・肝臓がん検診等実施要領」に改称し、内容を一部改正し、平成25年度より適用する。また、定期検査事後管理において、従来は「年に1回の受診勧奨を行う」としていたが、「精密医療機関等で年2回以上受診するよう受診勧奨を行う」に改正した。

平成25年度から平成29年度までの「鳥取県肝炎対策推進計画」が策定され、その中で、7月を『鳥取県肝臓病月間』として新たに設け、県民への肝炎ウイルス検査の受診勧奨の強化及び肝臓がん予防等について正しい知識の普及を図る。

- 7) 平成24年度から、県内の17市町村国保において特定健診に併せてクレアチニン検査が導入された。保健指導するにあたって、クレアチニン値のみでなく、eGFR値で腎機能を評価することが必要であることから、eGFR値を併記すべき、との委員会の意見を受け、鳥取県医師会理

事会等で協議した結果、平成25年度より協力できる医療機関は可能な範囲で値の記載をお願いする。また、鳥取県医師会代行入力記録票にeGFR値の記載欄を設けた。

8) 鳥取県のがん死亡率（75歳未満年齢調整死亡率）は、年々減少傾向にあるものの、全国平均と比較すると、過去10年以上にわたり恒常的に高い（悪い）傾向にあることから、早急かつ効果的ながん死亡率を減少させる取り組みを強化推進させることが喫緊の課題である。

県は、平成25年度から平成29年度までの第2

次計画を策定するにあたり、「鳥取県がん対策推進県民会議」の傘下に県内外のがんの専門家で構成する「鳥取県がん対策推進評価専門部会」を設置し、本県が全国に比べがん死亡率が高い要因について評価分析を行うとともに、今後取るべき有効な対策等について検討を行い、このたび、評価専門部会の評価分析結果や、関係機関及びがん患者を含む県民の意見等を参考に、第二次鳥取県がん対策推進計画を策定した。

(参 考)

平成23年度実績、平成24年度実績（中間）、平成25年度計画について

(単位：人 %)

区 分		国指標	平成23年度実績	平成24年度実績見込	平成25年度計画	
胃 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)		190,556	190,425	190,339	
	受診者	X 線 検 査 (人・率)		15,080 ( 7.9)	17,581 ( 9.2)	21,291 (11.2)
		内 視 鏡 検 査 (人・率)		29,435 (15.4)	28,208 (14.8)	34,275 (18.0)
		合 計 (人・率)	目標値50%達成	44,515 (23.4)	45,789 (24.0)	55,566 (29.2)
	X 線 検 査	要 精 検 者 数 (人)		1,247	/	/
		要 精 検 率 (%)	許容値11.0%以下	8.3		
		精 密 検 査 受 診 者 数 (人)		1,022		
		精 検 受 診 率 (%)	許容値70%以上 目標値90%以上	82.0		
	検 診 発 見 が ん の 者 (が ん の 疑 い)		159 (55)			
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.11%以上	0.36			
陽 性 反 応 適 中 度	許容値1.0%以上	2.3				
確 定 調 査 結 果 (確 定 癌 数 ・ 率)		157 (0.35)				
H 2 3 年 度 全 国 受 診 率		9.2				

区 分		国指標	平成23年度実績	平成24年度実績見込	平成25年度計画
子宮頸部がん検診	対象者数(人)		135,485	135,408	135,286
	受診者数(人)		28,247	28,662	36,652
	受診率(%)	目標値50%達成	20.8 (30.7)	21.2	27.1
	要精検者数(人)		174		
	判定不能者数(人)		22		
	要精検率(%)	許容値1.4%以下	0.62		
	精検受診者数(人)		140		
	精検受診率(%)	許容値70%以上 目標値90%以上	80.5		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		23 (76)		
	検診発見がん率(%)	許容値0.05%以上	0.08		
	陽性反応適中度	許容値4.0%以上	16.4		
	確定調査結果(確定癌数・率)		21 (0.07)		
	H23年度全国受診率		23.9		
肺がん検診	対象者数(人)		190,556	190,425	190,339
	受診者数(人)		48,513	50,270	57,711
	受診率(%)	目標値50%達成	25.5	26.4	30.3
	要精検者数(人)		2,467		
	要精検率(%)	許容値3.0%以下	5.09		
	精検受診者数(人)		2,208		
	精検受診率(%)	許容値70%以上 目標値90%以上	89.5		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		44 (70)		
	検診発見がん率(%)	許容値0.03%以上	0.09		
	陽性反応適中度	許容値1.3%以上	2.0		
	確定調査結果(確定癌数・率)		61 (0.13)		
	上記のうち原発性肺がん数		55		
	H23年度全国受診率		17.0		
乳がん検診	対象者数(人)		118,248	122,153	122,071
	受診者数(人)		18,194	22,433	30,083
	受診率(%)	目標値50%達成	15.4 (29.3)	18.4	24.6
	要精検者数(人)		1,362		
	要精検率(%)	許容値11.0%以下	7.49		
	精検受診者数(人)		1,275		
	精検受診率(%)	許容値80%以上 目標値90%以上	93.6		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		72 (3)		
	検診発見がん率(%)	許容値0.23%以上	0.40		
	陽性反応適中度	許容値2.5%以上	5.65		
	確定調査結果(確定癌数・率)		69 (0.38)		
	H23年度全国受診率		18.3		

区 分		国指標	平成23年度実績	平成24年度実績見込	平成25年度計画
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)		190,556	190,641	190,555
	受 診 者 数 (人)		52,192	54,441	61,737
	受 診 率 (%)	目標値50%達成	27.4	28.6	32.4
	要 精 検 者 数 (人)		4,307		
	要 精 検 率 (%)	許容値7.0%以下	8.3		
	精 検 受 診 者 数 (人)		3,340		
	精 検 受 診 率 (%)	許容値70%以上 目標値90%以上	77.5		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		131 (9)		
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.13%以上	0.25		
	陽 性 反 応 適 中 度	許容値1.9%以上	3.9		
	確定調査結果(確定癌数・率)		131 (0.25)		
	H 2 3 年 度 全 国 受 診 率		18.0		

※検診発見がんの者(率)：精密検査の結果、がんとして診断された者です。

( ) 内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上。

※確定癌者(率)：精密検査の結果、がん及びがん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会が確定調査を行い、最終的に確定癌とされた者です。

※乳がん・子宮がん検診は、国の検診指針では2年に1回のため、受診率全国対比の数値を県受診率欄に( )で表示している。

### (1) 平成23年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

区 分	対象者数	受診者数	受診率	HBs 陽性者	HCV 陽性者	HBs 陽性率	HCV 陽性率
肝炎ウイルス検査	198,670	3,374	1.7%	56	24	1.7%	0.7%

(精密検査)

区 分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率	肝臓がん	肝臓がん疑い	がん発見率
肝炎ウイルス検査	80	49	61.3	0	2	0.00%

平成24年度実績見込み7,810人、平成25年度計画8,609人

### (2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査状況

区 分	健康指導 対象者	定期検査 受診者数	定期検査結果			
			慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	がん疑い
B型肝炎ウイルス陽性者	1,552	711	125 (17.6)	11 (1.5)	1 (0.1)	1 (0.1)
C型肝炎ウイルス陽性者	921	413	219 (53.0)	17 (4.1)	9 (2.2)	3 (0.7)

別記(3)

平成24年度鳥取県健康対策協議会決算書

〈収入の部〉

(単位：円)

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金	19,953,000	△1,343,890	18,609,110	18,609,110	0	
1) 委 託 金	16,337,000	△1,343,890	14,993,110	14,993,110	0	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金	6,169,000	△1,343,890	4,825,110	4,825,110	0	委託金4,595,342円 +消費税229,768円
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,890,000	0	2,890,000	2,890,000	0	委託金2,752,381円 +消費税137,619円
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金	1,841,000	0	1,841,000	1,841,000	0	委託金1,753,333円 +消費税87,667円
(4) 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金	1,409,000	0	1,409,000	1,409,000	0	委託金1,341,905円 +消費税67,095円
(5) がん検診精度確保 事業費委託金	2,771,000	0	2,771,000	2,771,000	0	委託金2,639,048円 +消費税131,952円
(6) 肝臓がん検診従事者講習会 開催等事業費委託金	287,000	0	287,000	287,000	0	委託金273,333円 +消費税13,667円
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	595,000	0	595,000	595,000	0	委託金566,667円 +消費税28,333円
(8) 母子保健推進体制 整備事業費委託金	375,000	0	375,000	375,000	0	委託金357,143円 +消費税17,857円
2) 県 負 担 金	3,616,000	0	3,616,000	3,616,000	0	
(1) 事務局強化対策 負担金	3,616,000	0	3,616,000	3,616,000	0	
2. 保健事業団支出金	20,394,000	20,771	20,414,771	20,414,771	0	
1) 委 託 金	19,994,000	20,771	20,014,771	20,014,771	0	
(1) 胃集検読影 事業費委託金	5,718,000	△294,930	5,423,070	5,423,070	0	@330×15,651件=5,164,830円 消費税258,240円
(2) 子宮がん検診 事業費委託金	284,000	114,790	398,790	398,790	0	細胞診1次@400×0件=0円 最終判定@900×422件= 379,800円 消費税18,990円
(3) 肺がん検診 事業費委託金	4,239,000	△184,709	4,054,291	4,054,291	0	フィルム読影料 @70×55,109件 細胞診1次@400×0件 最終判定@900×4件 消費税193,061円
(4) 乳がん検診 事業費委託金	5,400,000	456,300	5,856,300	5,856,300	0	マンモグラフィ読影料 @600×9,760.5件 (内税283,054円)
(5) 若年者心臓検診 事業費委託金	4,353,000	△70,680	4,282,320	4,282,320	0	@200×20,392件=4,078,400円 消費税203,920円
2) 補 助 金	400,000	0	400,000	400,000	0	
(1) 各専門委員会連絡 調整補助金	400,000	0	400,000	400,000	0	

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
3. 市町村等支出金	15,420,000	△628,020	14,791,980	14,791,980	0	
1) 市町村委託金	15,420,000	△628,020	14,791,980	14,791,980	0	
(1) 肺がん医療機関検診 事業費委託金	8,820,000	293,580	9,113,580	9,113,580	0	@420×21,699件 (内税)
(2) 乳がん検診 事業費委託金	6,600,000	△921,600	5,678,400	5,678,400	0	@600×9,464件 (内税)
4. その他委託金	1,161,000	△422,464	738,536	738,536	0	
1) 委 託 金	1,161,000	△422,464	738,536	738,536	0	
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金	294,000	22,470	316,470	316,470	0	山陰予防医学研究所 @210×1,507件 (内税)
(2) 胃集検読影 事業費委託金	693,000	△372,490	320,510	320,510	0	中国労働衛生協会 @330×925件 +消費税15,260円
(3) 肺がん検診 事業費委託金	114,000	△12,444	101,556	101,556	0	中国労働衛生協会 フィルム読影料@120×806件 消費税4,836円
(4) 乳がん検診 事業費委託金	60,000	△60,000	0	0	0	中国労働衛生協会 @600×0件 (内税)
5. 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
1) 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 運営費補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
6. 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
(1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
7. 諸 収 入	53,000	0	53,000	35,973	△17,027	
1) 預 金 利 子	3,000	0	3,000	1,381	△1,619	
(1) 預 金 利 子	3,000	0	3,000	1,381	△1,619	
2) 労働者保険料 被保険者負担分収入	50,000	0	50,000	34,592	△15,408	労働保険料事業主立替分収入
(1) 労働者保険料 被保険者負担分収入	50,000	0	50,000	34,592	△15,408	
8. 繰 越 金	2,502,000	0	2,502,000	2,502,897	897	
1) 前年度繰越金	2,502,000	0	2,502,000	2,502,897	897	
(1) 前年度繰越金	2,502,000	0	2,502,000	2,502,897	897	
収入合計	60,784,000	△2,373,603	58,410,397	58,393,267	△17,130	

〈支出の部〉

(単位：円)

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
1. 総 務 費	5,165,000	0	0	5,165,000	5,036,976	128,024	
1) 会 議 費	807,000	0	0	807,000	803,733	3,267	
(1) 理 事 会 費	807,000	0	0	807,000	803,733	3,267	
2) 各 専 門 委 員 会 費	1,292,000	0	0	1,292,000	1,167,243	124,757	
(1) 各 専 門 委 員 会 費	1,292,000	0	0	1,292,000	1,167,243	124,757	
3) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	
(1) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	
4) 公 租 公 課 費	750,000	0	0	750,000	750,000	0	
(1) 公 租 公 課 費	750,000	0	0	750,000	750,000	0	
							公租公課費 750,000円 健康対策費のうち以 下の項目で公租公課 費を支出 ※ 胃がん対策費 86,153円 子宮がん対策費 5,981円 肺がん対策費 192,565円 乳がん対策費 173,020円 若年者心臓検診対策費 68,981円 小計 526,700円 合計1,276,700円
2. 健康対策費	55,619,000	△2,373,603	0	53,245,397	51,204,494	2,040,903	
1) がん登録対策費	6,324,000	△1,343,890	0	4,980,110	4,844,922	135,188	
(1) がん登録費	6,324,000	△1,343,890	0	4,980,110	4,844,922	135,188	
2) 胃がん対策費	6,721,000	△667,420	0	6,053,580	5,772,635	280,945	
(1) 胃がん対策費	6,721,000	△667,420	0	6,053,580	5,772,635	280,945	※公租公課費 86,153円支出
3) 子宮がん対策費	800,000	114,790	0	914,790	867,072	47,718	
(1) 子宮がん対策費	800,000	114,790	0	914,790	867,072	47,718	※公租公課費 5,981円支出
4) 肺がん対策費	14,122,000	96,427	0	14,218,427	13,886,638	331,789	
(1) 肺がん対策費	13,527,000	96,427	0	13,623,427	13,291,638	331,789	※公租公課費 192,565円支出
(2) 肺がん医療機関検診 読影委員会対策費	595,000	0	0	595,000	595,000	0	
5) 乳がん対策費	12,413,000	△525,300	0	11,887,700	11,853,417	34,283	
(1) 乳がん対策費	12,413,000	△525,300	0	11,887,700	11,853,417	34,283	※公租公課費 173,020円支出
6) 大腸がん対策費	570,000	0	0	570,000	511,799	58,201	
(1) 大腸がん対策費	570,000	0	0	570,000	511,799	58,201	
7) 肝臓がん対策費	537,000	0	0	537,000	534,347	2,653	
(1) 肝臓がん対策費	537,000	0	0	537,000	534,347	2,653	
8) がん検診精度 確保対策費	2,851,000	0	0	2,851,000	2,847,320	3,680	
(1) がん検診精度 確保対策費	2,851,000	0	0	2,851,000	2,847,320	3,680	

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
9) 若年者心臓検診費	4,647,000	△48,210	0	4,598,790	4,181,583	417,207	※公租公課費 68,981円支出
(1) 若年者心臓検診費	4,647,000	△48,210	0	4,598,790	4,181,583	417,207	
10) 母子保健対策費	475,000	0	0	475,000	463,050	11,950	
(1) 母子保健対策費	475,000	0	0	475,000	463,050	11,950	
11) 県民健康対策費	2,940,000	0	0	2,940,000	2,898,541	41,459	
(1) 疾病構造調査等費	2,940,000	0	0	2,940,000	2,898,541	41,459	
12) 公衆衛生活動費	2,627,000	0	0	2,627,000	2,022,129	604,871	
(1) 地域保健対策費	610,000	0	0	610,000	269,732	340,268	
(2) 健康教育対策費	1,050,000	0	0	1,050,000	872,861	177,139	
(3) 公開健康講座費	345,000	0	0	345,000	276,698	68,302	
(4) 生活習慣病対策費	622,000	0	0	622,000	602,838	19,162	
13) 生活習慣病対策費	472,000	0	0	472,000	441,538	30,462	
(1) 生活習慣病費	472,000	0	0	472,000	441,538	30,462	
14) 地域医療研修及び健康情報対策費	120,000	0	0	120,000	79,503	40,497	
(1) 地域医療研修及び健康情報対策費	120,000	0	0	120,000	79,503	40,497	
支 出 合 計	60,784,000	△2,373,603	0	58,410,397	56,241,470	2,168,927	

収入済額 58,393,267円

支出済額 56,241,470円

差引残額 2,151,797円（平成25年度へ繰越）



別記(4)

平成24年度鳥取県健康対策協議会予算決算対照表

(単位：円)

事業名	支出予算額 支出決算額	内 訳					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	4,980,110	4,825,110				55,000	100,000
	4,844,922	4,825,110				19,812	0
2. 胃がん対策	6,053,580	210,000	5,423,070		320,510		100,000
	5,772,635	210,000	5,283,070		279,565		0
3. 子宮がん対策	914,790	316,000	398,790			80,000	120,000
	867,072	316,000	398,790			80,000	72,282
4. 肺がん対策	14,218,427	805,000	4,054,291	9,113,580	101,556		144,000
	13,886,638	805,000	3,918,891	8,986,071	101,556		75,120
5. 乳がん対策	11,887,700	253,000	5,856,300	5,678,400	0		100,000
	11,853,417	253,000	5,822,017	5,678,400	0		100,000
6. 大腸がん対策	570,000	250,000				150,000	170,000
	511,799	250,000				150,000	111,799
7. 肝臓がん対策	537,000	287,000				80,000	170,000
	534,347	287,000				80,000	167,347
8. がん検診精度 確保対策	2,851,000	2,771,000					80,000
	2,847,320	2,771,000					76,320
9. 若年者心臓検診 対策	4,598,790		4,282,320		316,470		
	4,181,583		3,892,919		288,664		
10. 母子保健対策	475,000	375,000					100,000
	463,050	375,000					88,050
11. 県民健康対策	2,940,000	2,890,000					50,000
	2,898,541	2,890,000					8,541
12. 公衆衛生活動 対策	2,627,000	1,409,000	400,000			425,000	393,000
	2,022,129	1,409,000	400,000			200,000	13,129
13. 生活習慣病対策	472,000	302,000				20,000	150,000
	441,538	302,000				20,000	119,538
14. 地域医療研修及 び健康情報対策	120,000					100,000	20,000
	79,503					79,503	0
15. 総務費	5,165,000	3,916,000				390,000	859,000
	5,036,976	3,916,000				390,000	730,976
合計	58,410,397	18,609,110	20,414,771	14,791,980	738,536	1,300,000	2,556,000
	56,241,470	18,609,110	19,715,687	14,664,471	669,785	1,019,315	1,563,102

別 記 (5)

表 彰 基 金

(平成25年3月31日現在)

1. 基金運用収支

(単位：円)

科 目	年度初現在高	増	減	年度末現在高	摘 要
1. 収 入					
前年度繰越金	415,938				
雑 入		62		416,000	普通預金利息
2. 支 出					
表彰関係諸費			40,840	△40,840	表彰状、記念品等(2名分)
計	415,938	62	40,840	375,160	

別 記 (6)

鳥取県健康対策協議会特別事業・決算

1. 定期預金

(単位：円)

科 目	年度初現在高	増	減	残 額	摘 要
1. 定期預金積立	4,040,207				鳥取銀行本店
2. 定期預金利息		806			
計	4,040,207	806	0	4,041,013	

2. 普通預金収支

科 目	年度初現在高	増	減	残 額	摘 要
1. 収 入					
前年度繰越金	1,741,530				
雑 入		272		1,741,802	普通預金利息
計	1,741,530	272	0	1,741,802	

別記 (7)

(写)

# 監 査 報 告 書

鳥取県健康対策協議会規約第6条8項の規程により、平成24年度鳥取県健康対策協議会事業報告・収入支出予算の執行について関係諸帳簿等を監査した結果適正であることを認めます。

平成25年6月20日

監 事 新 田 辰 雄 印

監 事 石 井 敏 雄 印

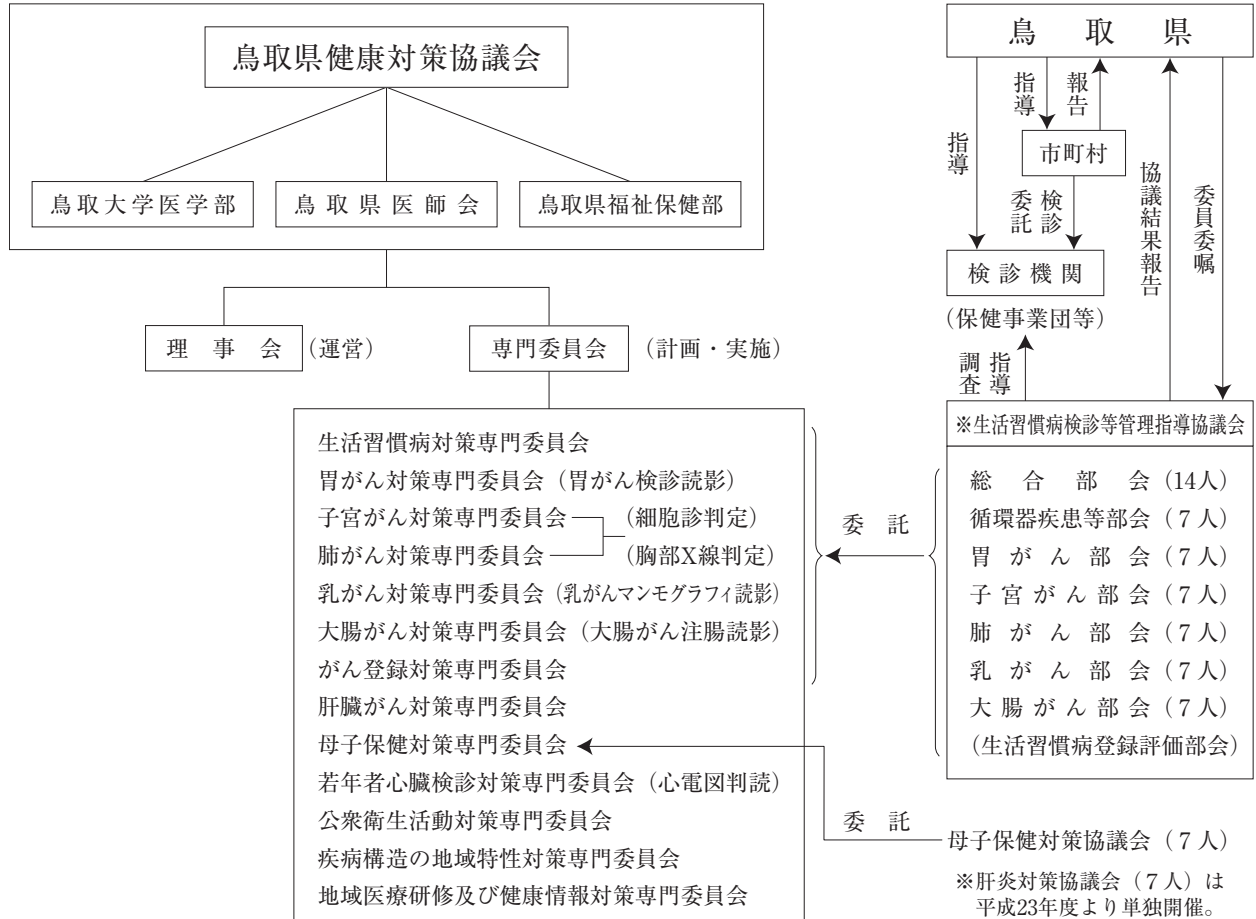
鳥取県健康対策協議会

会 長 岡 本 公 男 殿

別記 (8)

## 鳥取県健康対策協議会と生活習慣病検診等管理指導協議会組織図

(昭和46年1月26日発足)



別記(9)

平成25年度鳥取県健康対策協議会専門委員会委員名簿

(任期 平成24年4月1日～平成26年3月31日)

※1 平成25年4月1日付けで就任

1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学教授）】※1

医師会	県	鳥取大学医学部・附属病院
明穂 政裕（県医師会常任理事）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	村脇 義和（統合内科医学講座機能病態内科学教授）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	村上 健一（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）※1	黒沢 洋一（社会医学講座健康政策医学教授）
瀬川 謙一（県医師会理事）※1	日野 理彦（県立中央病院院長）	岡本 幹三（附属病院がんセンター特任教員）
岩垣 陽子（県医師会事務局）	井藤 久雄（県立厚生病院長）※1	
山下 裕（鳥取市立病院院長）	國政 清子（鳥取県立中央病院医療情報管理室副看護師長）	
山本 哲夫（米子医療センター副院長）	吉田 良平（倉吉保健所長）	
西土井英昭（東部医師会）	原田 五月（北栄町健康推進課健康づくり推進室保健師）	
平田 成正（中部医師会） <sup>H25.7.3～</sup>		
南崎 剛（西部医師会）		

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：吉中正人（吉中胃腸科医院長）】

医師会	県	鳥取大学医学部・附属病院
米川 正夫（県医師会常任理事） <sup>H25.7.4～</sup>	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	池口 正英（器官制御外科学講座病態制御外科学教授）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	村上 健一（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）※1	八島 一夫（附属病院第2内科診療科群講師）
瀬川 謙一（県医師会理事）	田中 究（県立中央病院部長）※1	斎藤 博昭（器官制御外科学講座病態制御外科学講師）※1
謝花 典子（山陰労災病院部長）	秋藤 洋一（県立厚生病院医療局長兼内科部長）	
西土井英昭（鳥取赤十字病院副院長）	岩本 明美（県立厚生病院医長）※1	
山口 由美（鳥取赤十字病院部長）	吉田 良平（倉吉保健所長）	
尾崎 真人（東部医師会）	友定奈緒美（倉吉市福祉保健部保健センター保健師） <sup>H25.7月～</sup>	
藤井 武親（中部医師会）		
伊藤 慎哉（西部医師会）	三浦 邦彦（県保健事業団西部健康管理センター参与）	
	三宅 二郎（県保健事業団放射線課課長補佐）	

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県立中央病院副院長兼産婦人科部長）】※1

医師会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	細川 淳（県健康医療局健康政策課長）※1	原田 省（器官制御外科学講座生殖機能医学教授）
瀬川 謙一（県医師会理事）※1	大野原良昌（県立厚生病院部長）	板持 広明（器官制御外科学講座生殖機能医学講師）
中曾 庸博（鳥取県産婦人科医会長）※1	長井 大（鳥取保健所長）	
長田 直樹（長田産科婦人科クリニック院長）※1	田中さよ子（県立中央病院看護師長）	
清水 健治（鳥取市立病院病院事業管理者）	長谷川照子（日南町福祉保健課主任保健師）	
梅澤 潤一（東部医師会）		
井奥 研爾（中部医師会）		
作野 嘉信（西部医師会）	富山 真弓（県保健事業団施設健診課長）	

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：中村廣繁（鳥取大学医学部器官制御外科学講座胸部外科学教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉田 真人（県医師会常任理事）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	清水 英治（統合内科医学講座分子制御内科学教授）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	村上 健一（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）※ <sup>1</sup>	谷口 雄司（附属病院手術部講師）
瀬川 謙一（県医師会理事）※ <sup>1</sup>	中本 周（県立中央病院部長）※ <sup>1</sup>	荒木 邦夫（附属病院胸部外科助教）
小林 哲（県医師会理事）	杉本 勇二（県立中央病院医療局長兼内科部長）	
谷口 玲子（ひまわり内科クリニック院長）	吹野 俊介（県立厚生病院中央手術センター長兼外科部長）	
工藤 浩史（博愛病院乳腺センター長）	吉田 良平（倉吉保健所長）	
北室 知己（東部医師会） <sup>H25.6.26~</sup>	川口 慶子（岩美町健康対策課課長補佐）	
岡田耕一郎（中部医師会）		
丸山 茂樹（西部医師会）	大久保 誠（県保健事業団放射線課長）	

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第3外科部長）】※<sup>1</sup>

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	廣岡 保明（保健学科病態検査学講座教授）
瀬川 謙一（県医師会理事）※ <sup>1</sup>	村上 健一（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）※ <sup>1</sup>	石黒 清介（器官制御外科学講座器官再生外科学准教授）
小林 哲（県医師会理事）	前田 啓之（県立中央病院医長）	
青木 哲哉（県医師会理事）	長井 大（鳥取保健所長）	
工藤 浩史（博愛病院乳腺センター長）	長谷川ゆかり（中部総合事務所福祉保健局健康支援課長）	
池田 光之（東部医師会）	花本 美弥（大山町保健課主幹保健師）※ <sup>1</sup>	
林 英一（中部医師会） <sup>H25.7.3~</sup>		
角 賢一（西部医師会）	大久保ひとみ（県保健事業団放射線診療放射線技師）	

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会常任理事）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
米川 正夫（県医師会常任理事）	細川 淳（県健康医療局健康政策課長）※ <sup>1</sup>	八島 一夫（附属病院第2内科診療科群講師）
瀬川 謙一（県医師会理事）	山本 寛子（県立中央病院）	蘆田 啓吾（附属病院第1外科診療科群講師）
濱本 哲郎（博愛病院副院長）※ <sup>1</sup>	秋藤 洋一（県立厚生病院医療局長兼内科部長）	
西土井英昭（鳥取赤十字病院副院長）	長井 大（鳥取保健所長）	
田中 久雄（鳥取赤十字病院部長）	清水知加子（琴浦町健康対策課係長）	
尾崎 真人（東部医師会）		
山本 敏雄（中部医師会）		
遠藤 秀之（西部医師会）	富田 優子（県保健事業団総括健診課主幹）	

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（鳥取産業保健推進連絡事務所代表）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	村脇 義和（統合内科医学講座機能病態内科学教授）
瀬川 謙一（県医師会理事）	細川 淳（県健康医療局健康政策課長）*1	廣岡 保明（保健学科病態検査学講座教授）
岸本 幸廣（山陰労災病院副院長）	前田 和範（県立中央病院医長）*1	孝田 雅彦（統合内科医学講座機能病態内科学准教授）
松木 勉（鳥取市立病院副院長）	万代 真理（県立厚生病院医長）*1	岡本 欣也（附属病院第2内科診療科群助教）
満田 朱理（鳥取赤十字病院部長）	大城 陽子（米子保健所長）	
松田 裕之（東部医師会）	西村 恵子（八頭町保健課副主幹）	
芦田 耕三（中部医師会） <sup>H25.7.3~</sup>		
野坂 康雄（西部医師会）	山下 裕子（県保健事業団巡回健診課臨床検査技師）	

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：坂本雅彦（垣田病院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
笠木 正明（県医師会常任理事）	池上 祥子（県子育て王国推進局子育て応援課長）*1	西村 元延（器官制御外科学講座器官再生外科学教授）
吉田 真人（県医師会常任理事）	吹野 英明（県スポーツ健康教育課長）	船田 裕昭（附属病院小児科助教）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	吉田 泰之（県立中央病院医療技術局長兼総合診療科部長）	
武信 順子（県医師会理事）	星加 忠孝（県立中央病院周産期母子センター長）	
瀬川 謙一（県医師会理事）*1	奈良井 栄（県立厚生病院部長）	
石谷 暢男（東部医師会）	大城 陽子（米子保健所長）	
西田 法孝（中部医師会） <sup>H25.7.3~</sup>		
瀬口 正史（西部医師会）	長谷川利恵（県保健事業団総括健診課課長補佐）	

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
笠木 正明（県医師会常任理事）	池上 祥子（県子育て王国推進局子育て応援課長）*1	小枝 達也（鳥大地域学部発達科学教授）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	皆川 幸久（県立中央病院副院長兼産婦人科部長）	
瀬川 謙一（県医師会理事）*1	大野原良昌（県立厚生病院部長）	
大野 耕策（山陰労災病院院長）	大城 陽子（米子保健所長）	
大谷 恭一（智頭病院小児科科長）	酒嶋 里美（東部福祉保健事務所健康支援課がん対策・健康づくり支援担当課長補佐）	
中曾 庸博（鳥取県産婦人科医会長）*1		
石谷 暢男（東部医師会）	秋久あつみ（湯梨浜町子育て支援課保健師）	
明島 亮二（中部医師会）	石口 妙子（南部町健康福祉課主幹保健師）	
井田 尚志（西部医師会）*1		

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会理事）】\*1

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
魚谷 純（県医師会長） <sup>H25.6.29~</sup>	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	福本 宗嗣（医学部長）*1
岡田 克夫（県医師会常任理事）	細川 淳（県健康医療局健康政策課長）*1	北野 博也（附属病院長）

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：渡辺 憲（県医師会副会長）】 H25.6.29～

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
清水 正人（県医師会副会長）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	能勢 隆之（前鳥取大学学長）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	村上 健一（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）※1	黒沢 洋一（社会医学講座健康政策医学教授）
瀬川 謙一（県医師会理事）※1	吹野 英明（県スポーツ健康教育課長）	尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学教授）
辻田 哲朗（県医師会理事）H25.6.29～	日野 理彦（県立中央病院長）	
福永 康作（東部医師会）	中安 弘幸（県立中央病院部長）	
森尾 泰夫（中部医師会）	吉田 良平（倉吉保健所長）	
松野 充孝（西部医師会）	長谷岡淳一（県衛生環境研究所長）	
	丸瀬 和美（県保健事業団常務理事兼事務局長）	

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥取大学医学部地域医療学講座教授）】※1

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉田 真人（県医師会常任理事）	細川 淳（県健康医療局健康政策課長）※1	山本 一博（統合内科医学講座病態情報内科学教授）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	中安 弘幸（県立中央病院部長）	宗村 千潮（附属病院第2内科診療科群講師）
武信 順子（県医師会理事）	大城 陽子（米子保健所長）	
瀬川 謙一（県医師会理事）※1	山根 葉子（若桜町保健センター健康対策係主幹）	
重政 千秋（鳥取市福祉保健部参与）		
吉田 泰之（東部医師会）		
安梅 正則（中部医師会）H25.7.3～		
越智 寛（西部医師会）	梶川 貴子（県保健事業団企画調整課保健師）	

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：藤井秀樹（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
渡辺 憲（県医師会副会長）	山本 伸一（県福祉保健部長寿社会課長）※1	福本 宗嗣（医学部長）※1
岡田 克夫（県医師会常任理事）	中西 眞治（県健康医療局医療政策課長）	北野 博也（附属病院長）
瀬川 謙一（県医師会理事）※1		谷口 晋一（地域医療学講座教授）
松浦 喜房（東部医師会長）H25.6.26～		
松田 隆（中部医師会長）H25.7.3～		
野坂 美仁（西部医師会長）		

別記(10)(参考)

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会委員名簿

部 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
健 対 協 会 長	※2 魚谷 純	魚谷眼科医院	院 長
循 環 器 疾 患 等	○ 山本 一博 ※1 谷口 晋一	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学 鳥取大学医学部地域医療学講座	教 授 教 授
胃 が ん	○ 池口 正英 吉中 正人	鳥取大学医学部器官制御外科学講座病態制御外科学 吉中胃腸科医院	教 授 院 長
子 宮 が ん	○ 原田 省 ※1 皆川 幸久	鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学 鳥取県立中央病院	教 授 副 院 長
肺 が ん	○ 清水 英治 中村 廣繁	鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学 鳥取大学医学部器官制御外科学講座胸部外科学	教 授 教 授
乳 が ん	○ 石黒 清介 ※1 山口 由美	鳥取大学医学部器官制御外科学講座器官再生外科学 鳥取赤十字病院第三外科	准 教 授 部 長
大 腸 が ん	○ 八島 一夫 岡田 克夫	鳥取大学医学部附属病院第二内科 おかだ内科	講 師 院 長
がん登録対策専門委員会	※1 尾崎 米厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学	教 授

○印は各部会の部会長

※1 平成25年4月1日付で就任 ※2 平成25年6月29日付で就任

別記(11)(参考)

肝炎対策協議会・肝臓がん対策専門委員会

委 員 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
肝炎対策協議会	村脇 義和	鳥取大学医学部統合内科医学講座機能病態内科学	教 授
肝臓がん対策専門委員会	川崎 寛中	鳥取産業保健推進連絡事務所	代 表



## 生活習慣病検診等管理指導協議会部会委員

(順不同・アンダーラインは部会長)

部 会 名	氏 名	職 名
循環器疾患等      計7名	<u>山 本 一 博</u>	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学教授
	谷 口 晋 一	鳥取大学医学部地域医療学講座教授
	大 城 陽 子	米子保健所長
	武 信 順 子	武信眼科院長
	中 安 弘 幸	鳥取県立中央病院医療局副局長兼神経内科部長
	山 根 葉 子	若桜町保健センター健康対策係主幹
	吉 田 眞 人	よしだ内科医院長
胃 が ん      計7名	<u>池 口 正 英</u>	鳥取大学医学部器官制御外科学講座病態制御外科学教授
	吉 中 正 人	吉中胃腸科医院長
	秋 藤 洋 一	鳥取県立厚生病院医療局長兼内科部長
	岩 本 明 美	鳥取県立厚生病院消化器外科医長
	謝 花 典 子	山陰労災病院消化器内科部長
	瀬 川 謙 一	瀬川医院長
	友 定 奈緒美	倉吉市福祉保健部保健センター保健師
子 宮 が ん      計7名	<u>原 田 省</u>	鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学教授
	皆 川 幸 久	鳥取県立中央病院副院長兼産婦人科部長
	大野原 良 昌	鳥取県立厚生病院産婦人科部長
	田 中 さよ子	鳥取県立中央病院看護師長
	富 山 真 弓	鳥取県保健事業団施設健診課長
	長 田 直 樹	長田産科婦人科クリニック院長
	長谷川 照 子	日南町福祉保健課主任保健師
肺 が ん      計7名	<u>清 水 英 治</u>	鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学教授
	中 村 廣 繁	鳥取大学医学部器官制御外科学講座胸部外科学教授
	川 口 慶 子	岩美町健康対策課課長補佐
	杉 本 勇 二	鳥取県立中央病院医療局長兼内科部長
	谷 口 玲 子	ひまわり内科クリニック院長
	吹 野 俊 介	鳥取県立厚生病院中央手術センター長兼外科部長
	吉 田 良 平	倉吉保健所長
乳 が ん      計7名	<u>石 黒 清 介</u>	鳥取大学医学部器官制御外科学講座器官再生外科学准教授
	山 口 由 美	鳥取赤十字病院第三外科部長
	大久保 ひとみ	鳥取県保健事業団放射線課診療放射線技師
	長谷川 ゆかり	中部総合事務所福祉保健局健康支援課長
	花 本 美 弥	大山町保健課主幹保健師
	廣 岡 保 明	鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座教授
	前 田 啓 之	鳥取県立中央病院心臓血管外科医長兼呼吸器・乳腺・内分泌外科医長

部 会 名		氏 名	職 名
大 腸 が ん	計 7 名	八 島 一 夫	鳥取大学医学部附属病院第二内科診療科群講師
		岡 田 克 夫	おかだ内科院長
		清 水 知 加 子	琴浦町健康対策課係長
		田 中 久 雄	鳥取赤十字病院第一内科部長
		富 田 優 子	鳥取県保健事業団総括健診課主幹
		西土井 英 昭	鳥取赤十字病院副院長
		山 本 寛 子	鳥取県立中央病院
生活習慣病登録評価部会	がん登録委員会 計 7 名	尾 崎 米 厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学教授
		井 藤 久 雄	鳥取県立厚生病院長
		岩 垣 陽 子	鳥取県医師会係長
		國 政 清 子	鳥取県立中央病院医療情報管理室副看護師長
		原 田 五 月	北栄町健康推進課健康づくり推進室保健師
		日 野 理 彦	鳥取県立中央病院長
		山 下 裕	鳥取市立病院長
母子保健対策協議会	計 7 名	中 曾 康 博	中曾産科婦人科医院長
		神 崎 晋	鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期小児医学教授
		秋 久 あ つ み	湯梨浜町子育て支援課保健師
		石 口 妙 子	南部町健康福祉課主幹保健師
		大 野 耕 策	山陰労災病院院長
		笠 木 正 明	こどもクリニックかさぎ院長
		酒 嶋 里 美	東部福祉保健事務所健康支援課がん対策・健康づくり支援担当課長補佐

## 平成25年度鳥取県健康対策協議会事業計画

( ) の数字は平成25年度予算額

(単位：千円)

## 1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥大医社会医学講座環境予防医学教授）】

事業内容	摘要
1. がん登録及び集団検診の効果分析 2. 出張採録と患者照合処理の効率化 3. 「鳥取県がん登録事業実施要綱」の制定 4. 標準化データベースシステム（DBS）導入の検討 (6,260)	1. 地域がん登録全国協議会総会研究会参加

## 2. 胃がん対策専門委員会【委員長：吉中正人（吉中胃腸科医院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理 5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影 (6,269)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 3. 厚生労働省研究班による胃内視鏡検診の有効性評価に関する検討

## 3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県立中央病院副院長兼産婦人科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団（車検診）検診実施状況の評価、検討 2. 子宮がん検診一次検査医療機関登録 3. 子宮がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見がん患者の確定調査 5. 若年者の受診率向上対策 (983)	1. 従事者講習会及び症例検討会（西部） 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：中村廣繁（鳥大医器官制御外科学講座胸部外科学教授）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 5. デジタル化に伴う読影 (14,320)	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第三外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見乳がん患者の確定調査 4. 乳がん医療機関検診一次検診医登録 5. マンモグラフィ併用検診体制整備 6. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 (12,658)	1. 従事者講習会及び症例検討会（東部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がんマンモグラフィ読影委員会設置

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 (565)	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（鳥取産業保健推進連絡事務所代表）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (537)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：坂本雅彦（垣田病院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 (4,620)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（中部） 3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会参加

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥大医統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 新生児マス・スクリーニングについて 3. 乳幼児健康診査について (471)	1. 母子保健対策専門委員会小委員会（3回）開催 ・「鳥取県乳幼児健診マニュアル（概要版）」の検討

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（県医師会理事）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県における腎不全医療の実態調査と腎移植の推進に関する研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 (2,940)	

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：渡辺 憲（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 地域保健対策 2. 健康教育対策 3. 生活習慣病対策 (2,578)	1. 健康フォーラム 2. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座） 3. 「各種がん検診確定がん予後調査から検診の精度評価を考える」

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥大医地域医療学講座教授）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (467)	1. 従事者講習会（中部）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：藤井秀樹（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療の充実についての検討 2. 健康、医療に関わる計画について検討 (120)	

平成25年度鳥取県健康対策協議会予算書

〈収入の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金		19,876	19,953	△77	
1) 委 託 金		16,260	16,337	△77	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金		6,163	6,169	△6	委託金5,870千円 +消費税293千円
	1. がん登録及び解析 評価事業費委託金	6,163	6,169	△6	
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金		2,890	2,890	0	委託金2,752千円 +消費税138千円
	1. 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,890	2,890	0	
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金		1,805	1,841	△36	委託金1,719千円 +消費税86千円
	1. 健康診査管理支援 事業費委託金	1,805	1,841	△36	
(4) 生活習慣病予防セミ ナー開催事業費委託金		1,409	1,409	0	委託金1,342千円 +消費税67千円
	1. 生活習慣病予防セミ ナー開催事業費委託金	1,409	1,409	0	
(5) がん検診精度確保 事業費委託金		2,753	2,771	△18	委託金2,622千円 +消費税131千円
	1. がん検診精度確保 事業費委託金	2,753	2,771	△18	
(6) 肝臓がん検診従事者講習 会開催等事業費委託金		287	287	0	委託金273千円 +消費税14千円
	1. 肝臓がん検診従事者講習 会開催等事業費委託金	287	287	0	
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金		582	595	△13	委託金554千円 +消費税28千円
	1. 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	582	595	△13	
(8) 母子保健推進体制 整備事業費委託金		371	375	△4	委託金353千円 +消費税18千円
	1. 母子保健推進体制 整備事業費委託金	371	375	△4	
2) 県 負 担 金		3,616	3,616	0	
(1) 事務局強化対策 負担金		3,616	3,616	0	
	1. 事務局強化対策 負担金	3,616	3,616	0	
2. 保健事業団支支出金		20,551	20,394	157	
1) 委 託 金		20,151	19,994	157	
(1) 胃集検読影 事業費委託金		5,544	5,718	△174	@330×16,000件 +消費税264千円
	1. 胃集検読影 事業費委託金	5,544	5,718	△174	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(2) 子宮がん検診 事業費委託金		473	284	189	最終判定@900×500件 消費税23千円
	1. 子宮がん検診 事業費委託金	473	284	189	
(3) 肺がん検診 事業費委託金		4,129	4,239	△110	胸部X線読影料 @70×55,500件 細胞診1次@400×50件 最終判定@900×30件 消費税197千円
	1. 肺がん検診 事業費委託金	4,129	4,239	△110	
(4) 乳がん検診 事業費委託金		5,700	5,400	300	マンモグラフィ読影料 @600×9,500件 (内税275,500円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	5,700	5,400	300	
(5) 若年者心臓検診 事業費委託金		4,305	4,353	△48	@200×20,500件 +消費税205千円
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	4,305	4,353	△48	
2) 補助金		400	400	0	
(1) 各専門委員会 連絡調整補助金		400	400	0	
	1. 各専門委員会 連絡調整補助金	400	400	0	
3. 市町村等支出金		15,840	15,420	420	
1) 市町村委託金		15,840	15,420	420	
(1) 肺がん医療機関 検診事業費委託金		9,240	8,820	420	@420×22,000件 (内税440,000円)
	1. 肺がん医療機関 検診事業費委託金	9,240	8,820	420	
(2) 乳がん検診 事業費委託金		6,600	6,600	0	@600×11,000件 (内税319,000円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	6,600	6,600	0	
4. その他委託金		1,009	1,161	△152	
1) 委託金		1,009	1,161	△152	
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金		315	294	21	山陰予防医学研究所 @210×1,500件 (内税15,000円)
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	315	294	21	
(2) 胃集検読影 事業費委託金		520	693	△173	中国労働衛生協会 @330×1,500件+消費税25千円
	1. 胃集検読影 事業費委託金	520	693	△173	
(3) 肺がん検診 事業費委託金		114	114	0	中国労働衛生協会 @120×900件+消費税6千円
	1. 肺がん検診 事業費委託金	114	114	0	
(4) 乳がん検診 事業費委託金		60	60	0	中国労働衛生協会 @600×100件(内税2,900円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	60	60	0	
5. 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
1) 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
(1) 運営費補助金		1,300	1,300	0	
	1. 運営費補助金	1,300	1,300	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
6. 寄 付 金		1	1	0	
1) 寄 付 金		1	1	0	
(1)寄 付 金		1	1	0	
	1. 寄 付 金	1	1	0	
7. 諸 収 入		53	53	0	
1) 預 金 利 子		3	3	0	
(1)預 金 利 子		3	3	0	
	1. 預 金 利 子	3	3	0	
2) 労 働 者 保 険 料 被 保 険 者 負 担 分 収 入		50	50	0	労働保険料事業主立替分収入
(1) 労 働 者 保 険 料 被 保 険 者 負 担 分 収 入		50	50	0	
	1. 労 働 者 保 険 料 被 保 険 者 負 担 分 収 入	50	50	0	
8. 繰 越 金		2,151	2,502	△351	
1) 前 年 度 繰 越 金		2,151	2,502	△351	
(1)前 年 度 繰 越 金		2,151	2,502	△351	
	1. 前 年 度 繰 越 金	2,151	2,502	△351	
収 入 合 計		60,781	60,784	△3	

〈支出の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 総 務 費		5,160	5,165	△5	
1) 会 議 費		807	807	0	
(1)理 事 会 費		807	807	0	
	9. 旅 費	235	235	0	理事会（1回）220,000円、車代15,000円
	11. 需 用 費	542	542	0	理事会会議諸費200,000円 新聞購読料36,084円 印刷代280,000円、消耗品費25,916円
	12. 役 務 費	30	30	0	通信運搬費
2) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,287	1,292	△5	
(1)各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,287	1,292	△5	
	9. 旅 費	735	790	△55	総合部会295,000円、一般旅費330,000円 調査研究旅費100,000円、車代10,000円
	11. 需 用 費	380	360	20	コピー代100,000円、食糧費24,000円 印刷代180,000円、消耗品費76,000円
	12. 役 務 費	172	142	30	電話代120,000円、郵便料52,000円



款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要																												
3) 給 料		2,316	2,316	0	専従職員1名分																												
(1) 給 料		2,316	2,316	0																													
	2. 給 料	2,316	2,316	0																													
5) 公租公課費		750	750	0																													
(1) 公租公課費		750	750	0	53,260千円(委託金合計)に係る公租公課費 公租公課費750,000円 健康対策費のうち以下の項目で公租公課費を支出																												
	27. 公租公課費	750	750	0	<table border="0"> <tr> <td>※</td> <td>{</td> <td>胃がん対策費</td> <td>122,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>子宮がん対策費</td> <td>9,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>肺がん対策費</td> <td>270,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>乳がん対策費</td> <td>247,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>若年者心臓検診対策費</td> <td>92,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小 計</td> <td>740,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合 計</td> <td>1,490,000円</td> </tr> </table>	※	{	胃がん対策費	122,000円			子宮がん対策費	9,000円			肺がん対策費	270,000円			乳がん対策費	247,000円			若年者心臓検診対策費	92,000円			小 計	740,000円			合 計	1,490,000円
※	{	胃がん対策費	122,000円																														
		子宮がん対策費	9,000円																														
		肺がん対策費	270,000円																														
		乳がん対策費	247,000円																														
		若年者心臓検診対策費	92,000円																														
		小 計	740,000円																														
		合 計	1,490,000円																														
2. 健康対策費		55,621	55,619	2																													
1) がん登録対策費		6,260	6,324	△64																													
(1) がん登録費		6,260	6,324	△64																													
	4. 共 済 費	62	50	12	労働保険料																												
	7. 賃 金	4,896	4,896	0	標準化データベースシステム移行整理に係る登録事務補助員賃金 @800×1,224時間×5人																												
	8. 報 償 費	50	50	0	報告書執筆謝金																												
	9. 旅 費	315	313	2	専門委員会(1回)130,000円 地域がん登録全国協議会(秋田)60,000円 診断票検査旅費120,000円、車代5,000円																												
	11. 需 用 費	537	615	△78	印刷代(診断票、封筒等)80,000円 食糧費10,000円 「がん登録事業報告書」印刷代315,000円 会報印刷代60,000円、コピー代20,000円 消耗品費52,000円																												
	12. 役 務 費	100	100	0	通信運搬費																												
	13. 委 託 料	300	300	0	コンピュータシステム変更料																												
2) 胃がん対策費		6,269	6,721	△452																													
(1) 胃がん対策費		6,269	6,721	△452																													
	4. 共 済 費	501	513	△12	臨時的任用職員(3人)社会保険料 311,215円 読影委員傷害保険料151,975円 労働保険料37,810円																												
	7. 賃 金	2,206	2,142	64	臨時的任用職員3人分賃金(5か月分)																												
	8. 報 償 費	2,165	2,349	△184	講習会講師謝金89,096円 読影謝金@9,284×220人=2,042,480円 胃がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円																												
	9. 旅 費	600	718	△118	専門委員会(2回)300,000円 車代等12,340円 中国四国胃集検の会(松江)167,660円 がん征圧大会40,000円 講習会旅費(1回)80,000円																												
	11. 需 用 費	495	510	△15	コピー代85,000円、消耗品費52,650円 宿泊代20,000円 食糧費30,000円、会報印刷代80,000円 各地区読影会事務費220,000円 看板作成代7,350円																												
	12. 役 務 費	140	140	0	通信運搬費100,000円、送金手数料40,000円																												

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
3) 子宮がん対策費	14. 使用料	40	40	0	会場借上料
	18. 備品購入費	0	180	△180	
	27. 公租公課費	122	129	△7	委託金6,064千円×2.0% = 121,280円
	(1) 子宮がん対策費	983	800	183	
	8. 報 償 費	548	378	170	講習会講師謝金89,096円 最終判定謝金@850×500件 = 425,000円 子宮がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円
	9. 旅 費	276	276	0	専門委員会(2回) 240,000円 車代10,000円、講習会旅費(1回) 26,000円
	11. 需用費	100	91	9	コピー代22,000円、食糧費19,650円 宿泊代12,000円 会報印刷代39,000円、看板作成代7,350円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費
	14. 使用料	30	30	0	会場借上料
	27. 公租公課費	9	5	4	委託金473千円×2.0% = 9,460円
4) 肺がん対策費		14,320	14,122	198	
(1) 肺がん対策費		13,738	13,527	211	
4. 共 済 費	367	380	△13	臨時的任用職員(3人) 社会保険料、労働保険料	
7. 賃 金	2,326	2,262	64	臨時的任用職員3人分賃金(5か月分)	
8. 報 償 費	8,845	8,460	385	講習会講師謝金89,096円 フィルム読影料 @35×56,400件 読影謝金(車検診) @8,252×150人 〃 (医療機関) @8,252×550人 〃 (車検診+医療機関) @10,315×90人 細胞診一次謝金 @350×50件 最終判定謝金 @850×30件 肺がん検診発見患者確定調査謝金33,411円	
9. 旅 費	437	487	△50	専門委員会(2回) 300,000円、車代7,000円 講習会旅費50,000円、打合会旅費80,000円	
11. 需用費	1,313	1,385	△72	コピー代40,000円、食糧費28,650円 宿泊代12,000円、印刷代70,000円 消耗品費20,000円、看板作成代7,350円 各地区読影会会場費 @3,000×275回 = 825,000円 地区医師会事務費310,000円	
12. 役 務 費	130	240	△110	通信運搬費	
14. 使用料	50	50	0	会場借上料	
27. 公租公課費	270	263	7	委託金13,483千円×2.0% = 269,660円	
(2) 肺がん医療機関検診 読影委員会対策費	582	595	△13		
8. 報 償 費	111	111	0	医療機関検診従事者講習会講師謝金 111,370円	
9. 旅 費	317	330	△13	肺がん医療機関検診読影委員会(3回) 317,000円	
11. 需用費	112	112	0	コピー代22,000円、会議費45,000円 消耗品費35,000円、印刷代10,000円	
12. 役 務 費	42	42	0	通信運搬費	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
5) 乳がん対策費		12,658	12,413	245	
(1) 乳がん対策費		12,658	12,413	245	
	4. 共 済 費	135	121	14	臨時的任用職員(3人)社会保険料(2か月分)、労働保険料
	7. 賃 金	882	857	25	臨時的任用職員3人分賃金(2か月分)
	8. 報 償 費	9,573	9,370	203	講習会講師謝金89,096円 マンモグラフィ読影料 @200×2人×14,600件=5,840,000円 @10,315×350人=3,610,250円 乳がん検診発見患者確定調査33,411円
	9. 旅 費	520	510	10	専門委員会(2回)250,000円 車代10,000円、講習会旅費60,000円 各地区読影委員会・症例検討会旅費 200,000円
	11. 需 用 費	1,111	1,124	△13	食糧費30,000円、会報印刷代80,000円 消耗品費39,000円、宿泊代12,000円 コピー代50,000円 各地区読影会会場費@4,000×175回 地区医師会事務費200,000円
	12. 役 務 費	150	150	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	40	40	0	会場借上料
	27. 公租公課費	247	241	6	委託金12,360千円×2.0% = 247,200円
6) 大腸がん対策費		565	570	△5	
(1) 大腸がん対策費		565	570	△5	
	8. 報 償 費	123	122	1	講習会講師謝金89,096円 大腸がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円
	9. 旅 費	317	323	△6	専門委員会(2回)280,000円 車代7,000円 講習会及び症例研究会旅費30,000円
	11. 需 用 費	75	75	0	会報印刷代30,000円、食糧費12,650円 看板作成代7,350円 宿泊代12,000円、コピー代13,000円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	30	30	0	会場借上料
7) 肝臓がん対策費		537	537	0	
(1) 肝臓がん対策費		537	537	0	
	8. 報 償 費	123	122	1	講習会講師謝金89,096円 肝臓がん検診発見患者確定調査33,411円
	9. 旅 費	255	255	0	専門委員会(2回)200,000円 講習会及び症例研究会旅費55,000円
	11. 需 用 費	100	100	0	会報印刷代30,000円、食糧費10,000円 コピー代35,000円、看板作成代7,350円 消耗品費5,650円、宿泊代12,000円
	12. 役 務 費	29	30	△1	通信運搬費
	14. 使 用 料	30	30	0	会場借上料

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
8) がん検診精度確保対策費		2,833	2,851	△18	
(1) がん検診精度確保対策費		2,833	2,851	△18	
	8. 報 償 費	870	925	△55	講習会講師謝金430,000円 各がん検診症例研究会謝金440,000円
	9. 旅 費	800	700	100	各がん検診症例研究会旅費800,000円
	11. 需 用 費	923	986	△63	報告書印刷代660,000円、会議費20,000円 資料印刷代90,000円、消耗品費50,000円 コピー代73,000円、看板代30,000円
	12. 役 務 費	150	200	△50	通信運搬費
	14. 使 用 料	90	40	50	会場借上料
9) 若年者心臓検診対策費		4,620	4,647	△27	
(1) 若年者心臓検診対策費		4,620	4,647	△27	
	8. 報 償 費	3,609	3,630	△21	講習会講師謝金89,096円 心電図判読料@160×22,000件 = 3,520,000円
	9. 旅 費	390	410	△20	専門委員会（1回）120,000円 車代10,000円、講習会旅費80,000円 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会旅費（神戸）180,000円
	11. 需 用 費	439	425	14	消耗品費26,000円、心臓手帳45,000円 食糧費20,650円、会報印刷代70,000円 コピー代50,000円、看板代7,350円 各地区事務費@10×22,000件
	12. 役 務 費	60	60	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	30	30	0	会場借上料
	27. 公租公課費	92	92	0	委託金4,620千円×2.0% = 92,400円
10) 母子保健対策費		471	475	△4	
(1) 母子保健対策協議会対策費		471	475	△4	
	9. 旅 費	271	265	6	専門委員会（1回）120,000円 車代1,000円、小委員会（3回）150,000円
	11. 需 用 費	130	140	△10	消耗品費20,000円、コピー代40,000円 会議費10,000円、会報印刷代60,000円
	12. 役 務 費	50	50	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	20	20	0	会場借上料
11) 県民健康対策費		2,940	2,940	0	
(1) 疾病構造調査等研究費		2,940	2,940	0	
	8. 報 償 費	2,500	2,500	0	疾病構造調査研究謝金（5項目） 2,000,000円 母子保健調査研究謝金500,000円
	9. 旅 費	100	100	0	専門委員会（1回）43,340円、車代1,660円 小委員会（1回）55,000円
	11. 需 用 費	270	270	0	報告書印刷製本費130,000円 会議費5,000円、会報印刷代30,000円 コピー代65,000円、消耗品費40,000円
	12. 役 務 費	70	70	0	通信運搬費

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
12) 公衆衛生活動費		2,578	2,627	△49	
(1) 地域保健対策費		610	610	0	
	8. 報 償 費	140	140	0	「健康なんでも相談室」原稿料 @5,011×28回
	9. 旅 費	102	102	0	専門委員会（1回）100,000円 車代2,000円
	11. 需 用 費	358	358	0	調査研究に係る諸経費350,000円 食糧費8,000円
	12. 役 務 費	10	10	0	
(2) 健康教育対策費		1,001	1,050	△49	
	8. 報 償 費	453	442	11	健康フォーラム講師謝金（2人） 178,192円 各地区健康教育活動講演会講師謝金 270,000円 保健の窓原稿料@5,011×1回
	9. 旅 費	89	100	△11	健康フォーラム講師旅費20,000円 車代9,000円 健康フォーラム関係者旅費30,000円 各地区健康教育活動に係った出席旅費 30,000円
	11. 需 用 費	349	392	△43	宿泊代20,000円、看板代130,000円 消耗品費79,000円、印刷代120,000円
	12. 役 務 費	60	66	△6	通信運搬費
	14. 使 用 料	50	50	0	会場借上料
(3) 公開健康講座 対 策 費		345	345	0	
	8. 報 償 費	180	180	0	保健の窓原稿料@5,011×12回=60,132円 講師謝金@20,046×6回=120,276円
	9. 旅 費	65	65	0	講師旅費31,540円、司会旅費30,000円 車代3,460円
	11. 需 用 費	60	60	0	スライド代60,000円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	20	20	0	会場借上料
(4) 生活習慣病対策 セミナー対策費		622	622	0	
	8. 報 償 費	300	300	0	保健の窓原稿料@5,011×12回=60,132円 講師謝金@20,046×12回=240,552円
	9. 旅 費	63	63	0	講師旅費33,000円、司会旅費30,000円
	11. 需 用 費	200	200	0	印刷代80,000円、スライド代120,000円
	12. 役 務 費	35	35	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	24	24	0	会場借上料
13) 生活習慣病対策費		467	472	△5	
(1) 生活習慣病対策費		467	472	△5	
	8. 報 償 費	89	89	0	講習会講師謝金89,096円
	9. 旅 費	250	260	△10	専門委員会（2回）230,000円 車代10,000円、講習会旅費10,000円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
14) 地域医療研修及び健康情報対策費 (1) 地域医療研修及び健康情報対策費	11. 需用費	98	93	5	食糧費20,000円、会報印刷代50,000円 看板作成代7,350円、コピー代20,650円
	12. 役務費	20	20	0	通信運搬費
	14. 使用料	10	10	0	会場借上料
		120	120	0	
		120	120	0	
	9. 旅 費	80	80	0	専門委員会（1回）、車代
	11. 需用費	30	30	0	食糧費、会報印刷代
	12. 役務費	10	10	0	通信運搬費
支 出 合 計		60,781	60,784	△3	

## 平成25年度鳥取県健康対策協議会予算の概要

(単位：千円)

事業名	支出予算額	収 入 予 算 額					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	6,260	6,163				55	42
2. 胃がん対策	6,269	205	5,544		520		
3. 子宮がん対策	983	310	473			80	120
4. 肺がん対策	14,320	787	4,129	9,240	114		50
5. 乳がん対策	12,658	248	5,700	6,600	60		50
6. 大腸がん対策	565	245				150	170
7. 肝臓がん対策	537	287				80	170
8. がん検診精度確保対策	2,833	2,753					80
9. 若年者心臓検診対策	4,620		4,305		315		
10. 母子保健対策	471	371					100
11. 県民健康対策	2,940	2,890					50
12. 公衆衛生活動対策	2,578	1,409	400			425	344
13. 生活習慣病対策	467	297				20	150
14. 地域医療研修及び健康情報対策	120					100	20
15. 総務費	5,160	3,911				390	859
合計	60,781	19,876	20,551	15,840	1,009	1,300	2,205

## 平成25年度鳥取県健康対策協議会会長表彰被表彰候補者名簿

(敬称略)

氏 名	略 歴	功 績 概 要
鳥取産業保健 推進連絡事務所 代表 川崎 寛中 (77歳)	平成7.4.1～現在 ・鳥取県健康対策協議会理事 平成14.4.1～現在 ・肝臓がん対策専門委員会委員長 平成7.4.1～平成14.3.31 (7年) ・肝臓がん対策専門委員会委員 平成2.4.1～平成13.3.31 (11年) ・公衆衛生活動対策専門員会委員 平成9.12.16～平成11.12.15 (2年) ・がん登録対策専門員会委員 平成9.12.16～平成11.12.15 (2年) ・疾病構造の地域特性対策専門員会委員 平成10.4.1～平成11.12.15 (2年) ・地域医療研修及び健康情報対策専門員会委員	多年に亘り本協議会役員並びに専門委員会委員長として、肝臓がん対策事業の推進向上に貢献した功績は、極めて顕著である。
西伯病院 名誉院長 田村 矩章 (68歳)	平成4.4.1～平成24.3.31 (20年) ・大腸がん対策専門委員会委員 平成2.4.1～現在 ・西部地区胃がん検診読影委員会委員 平成4.4.1～現在 ・西部地区大腸がん注腸読影委員会委員	多年に亘り本協議会専門委員会委員、読影委員として、胃がん、大腸がん検診事業の推進向上に貢献した功績は、極めて顕著である。

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ (<http://www.tottori.med.or.jp>) のトップページ左領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→ 「鳥取県健康対策協議会」

<http://www.kentaikyuu.tottori.med.or.jp>

